

# 2021 年度事業報告

(2021 年 4 月 1 日～2022 年 3 月 31 日)

## I. 概要

### 1 総括

2021 年度は、情報通信分野における標準化の推進と情報通信ネットワークの発展への引き続きの貢献のため、情報通信ネットワークに係る標準の作成、調査、普及等の活動を行った。また、新型コロナウイルス感染症(COVID-19)の世界的流行や、デジタルトランスフォーメーション(DX: Digital Transformation)の普及による情報通信技術(ICT: Information and Communication Technology)の活用の広がり等の社会変化に対応するため、業分野での活動や他団体等との連携・協力活動に注力し、標準の作成にとどまらない戦略的な標準化活動に取り組んだ。

### 2 組織

2021 年度の組織構成は表 1 の通り。(2020 年度より変更なし)

表 1 組織

総会	TTC の会員によって構成し、役員を選任、当該年度の貸借対照表、正味財産増減計算書の承認、定款の変更等を決定する。
理事会	TTC の役員で構成し、TTC の業務執行に関わる決定を行う。
評議会	標準の作成手続きを審査するほか、理事会が必要と認めた重要な事項について理事会の諮問に応じる。
表彰選考委員会	情報通信技術賞総務大臣表彰及び TTC 会長表彰の候補者の選考を行い理事会に報告する。
事務局	TTC の円滑な業務遂行を支援する。
業際イノベーション本部	ICT 分野の活性化に資する業際的なイノベーションに関する動向調査、課題の発掘並びに戦略の検討を行う。
IPR 委員会	TTC 標準に係わる IPR に関する基本指針の制定、改定案の作成とそれらの理事会への付議、関連標準化機関等との IPR 分野における連携、国内外における IPR の動向に関する調査・研究等を行う。
標準化会議	情報通信ネットワークに係る標準の審議、情報通信ネットワークに係る調査及び研究等を行う。専門委員会で作成した標準案に対し、標準化会議委員が投票を行い提案の標準案の採否が決定

	される。
専門委員会	標準化活動を行う母体で、最新技術分野・テーマについて情報収集が議論の場を設けている。
企画戦略委員会	TTC の中期標準化戦略の策定、重点課題の設定、専門委員会の統廃合、および標準化団体との国際連携活動等、TTC の将来的な標準化活動戦略を立案する。
アドバイザリーグループ	重点課題を検討するための組織で技術調査と国際連携の2つのグループがある。

## II. 事業報告

### 1 企画戦略

#### 1.1 企画戦略委員会

##### 1.1.1 会合開催状況

企画戦略委員会は、第 149 回から第 157 回の計 9 回の会議を実施した。2022 年 1 月に開催した企画戦略委員会では、専門委員会の正副委員長およびアドバイザーグループ (AG: Advisory Group) のリーダサブリーダ参加のもと拡大形式にて 2022 年度中期標準化戦略案の審議を行った。(別紙 1)

表 2 企画戦略委員会の開催状況

開催回	開催日	主な議題
第 149 回	2021/4/21	功労賞選考について、アドホック・SWG 設置について、今年度のセミナー計画について
第 150 回	2021/5/26	2020 年度事業報告について・アドホック・SWG 設置状況について・会期末め
第 151 回	2021/6/25	企画戦略委員の担当専門委員会、標準化会議予定について
第 152 回	2021/7/26	ITSCJ との意見交換会結果・今後の連携、他分野・他組織連携の会合等実施状況、表彰、WTSA、TSAG 関連の今後の予定について
第 153 回	2021/9/29	ITSCJ との今後の具体的な連携、各担当専門委員会の状況共有、他分野・他組織連携の会合等実施状況、ITU 電気通信標準化局長選挙、ITU-T 会合報告について
第 154 回	2021/10/25	企画戦略委員交代、各担当専門委員会の状況共有、他分野・他組織連携の会合等実施状況について
第 155 回	2021/11/29	専門委員会の活動状況を踏まえた今後の対応、他分野・他組織連携の会合等実施状況、Beyond5G 関連状況報告 中期標準化戦略フォーマット案について
第 156 回	2021/12/20	フォーラム調査 2021 中間報告、『専門委員会活動状況共有』議論を踏まえた今後の取り組み、2022 年事業計画案 ソフトウェアアドホック終了、他分野・他組織連携の会合等実施状況について
第 157 回	2022/1/24 (拡大形式)	2022 年度事業計画(案)、専門委員会・AG の中期標準化戦略(2022 年度)(案)、専門委員会活動状況の取りまとめ 結果と今後の対応について

### 1.1.2 主な活動成果

- ・ サブワーキンググループ(SWG)1 件、アドホックグループ(AH)1 件の新設を審議、承認した。(2021 年 4 月)
- ・ 情報規格調査会との連絡会を実施(2021 年 7 月)。連絡会での意見交換結果等を踏まえ、両組織での共通課題であり社会的に関心の高い AI 倫理をテーマとしたセミナーを共催にて開催した。(2022 年 2 月)
- ・ 第 153 回、154 回企画戦略委員会にて、各企画戦略委員の担当専門委員会の活動状況を共有。専門委員会間で連携して取り組むべき課題や、標準化活動上の重要テーマ及び新たなテーマについて議論を深めた。
- ・ 専門委員会間の連携を促進し、IoT エリアネットワーク専門委員会とセキュリティ専門委員会合同のセミナー開催を実現した。(2021 年 12 月)

## 1.2 アドバイザリーグループ

### 1.2.1 技術調査アドバイザリーグループ

戦略的な標準化活動実現のため、海外の主要なフォーラム標準化活動の最新動向を調査、分析し、調査結果を「TTC フォーラム調査報告書(第 28 版)」として展開。

表 3 TTC フォーラム調査報告書(第 28 版)概要

対象フォーラム	70(調査終了 7, 新規 5)
注目分野	①IoT・スマートシティ ②5G ③コネクテッド・カー ④SDN/NFV ⑤AI・ビッグデータ
広報活動	企画戦略委員会および専門委員会に展開 ホームページ 2/10 公開、TTC レポート(2022 年 4 月号)掲載

### 1.2.2 国際連携アドバイザリーグループ

- ・ ITU-T 新会期における研究課題、体制構築および WTSA(世界電気通信標準化総会)決議、A シリーズ勧告の制改訂に向けた APT WTSA 準備会合(11 月、追加開催)における対処方針案の検討、並びに国内議論を推進、APT 共通提案のとりまとめに貢献。
- ・ ITU-T 次々会期に向けた SG 再編アクションプランおよび次会期の WTSA 決議、A シリーズ勧告の制改訂、作業方法改訂に向けた ITU-T TSAG(電気通信標準化アドバイザリーグループ)会合(10 月、1 月)における日本寄書提出、並びに国内議論を推進。

## 2 標準化活動

### 2.1 標準化会議

#### 2.1.1 会議開催状況

標準化会議は、第 131 回から第 135 回の計 5 回の会議を実施した。第 131 回から第 134 回は電子投票にて標準の制改定手続きを行い、第 135 回は集会形式にて各専門委員会の 2022 年度中期標準化戦略を承認した。

表 4 標準化会議の開催状況

開催回	開催形式	開催日
第 131 回	投票	2021/3/5-5/20
第 132 回	投票	2021/6/4-8/26
第 133 回	投票	2021/9/10-11/11
第 134 回	投票	2021/12/3-2022/2/24
第 135 回	集会(オンライン)	2022/2/21

#### 2.1.2 主な活動成果

- ・ 世界貿易機関(WTO)の TBT 協定(Agreement on Technical Barriers to Trade)を尊重し、標準案リストの Web 公開、標準案の提示から決定までの期間を 60 日間確保するなど公正性、中立性、透明性を配慮した標準の制改定手続きを行い、当年度は 10 件の標準制定、6 件の標準改定を実施。(別紙 2)
- ・ 2022 年 2 月 21 日に開催した第 135 回標準化会議で、各専門委員会の 2022 年度中期標準化戦略を承認。

## 2.2 専門委員会

### 2.2.1 構成

2021 年度は 5 つの部門、18 の専門委員会の構成で標準化活動を行った。(別紙 3)

2021 年 4 月に、日本インダストリアルイメージング協会(JIIA)からの提案により、ITU-T のマシンビジョン関連の標準化活動の積極的な寄与と国内標準化の反映を目的に、マルチメディア応用専門委員会の配下のサブワーキンググループとして、新たにマシンビジョン SWG を設立し、活動を開始した。

また、ITU-T で自律型のネットワークの検討を行うフォーカスグループ(FG: Focus Group)である Focus Group on Autonomous Networks(FG-AN)の情報収集と共有を目的とし、2021 年 4 月に、Network Vision 専門委員会の下でアドホックグループ(AHG: Ad Hoc Group)AN AHG を設置し、活動を開始した。

移動通信網マネジメント専門委員会配下にあった 3GPP2 SWG は、2015 年以降 3GPP2 の活動がメンテナンスモードになってからも、緊急的な仕様修正時の対応に備え存続していたが、すべての登録会員が活動を停止し、役割を終えたため 2022 年 2 月に廃止した。

表 5 専門委員会の構成

部門	専門委員会	統廃合状況
ICT 活用 アプリケーション	マルチメディア応用専門委員会	継続
	IPTV SWG	
	電子情報健康管理 SWG (e-health- swg)	
	アクセシビリティ SWG	
	メディア符号化・通信 SWG	
	ILE-SWG	
	マシンビジョン SWG	新設
プラットフォーム	コネクテッド・カー専門委員会	継続
	BSG 専門委員会	継続
	IoT・スマートシティ専門委員会	継続
	ICT と気候変動 SWG	
	AI 活用専門委員会	継続
プロトコル・ NW 管理・品質	oneM2M 専門委員会	継続
	セキュリティ専門委員会	継続
	企業ネットワーク専門委員会	継続
	企業網インタフェース SWG	
	CTI/F SWG	
	消防指令システム SWG	
	信号制御専門委員会	信号制御専門委員会
SIP SWG		
NGN 信号アップストリーム SWG		
網管理専門委員会		継続
通信ネットワーク運用管理 SWG		
通信サービス品質評価 SWG		
番号計画専門委員会	継続	
アーキテクチャー	Network Vision 専門委員会	継続
	NGN アップストリーム SWG	
	QoS アーキテクチャ SWG	
	クラウド SWG	
	NetSoft SWG	
	3GPP 専門委員会	継続
	サービス・システムアспект SWG	

		コアネットワーク SWG	
		無線アクセスネットワーク SWG	
		移動通信網マネジメント専門委員会	継続
		3GPP2 SWG	廃止
トランスポート・ アクセス・エリア NW		IoT エリアネットワーク専門委員会	継続
		通信インタフェース SWG	
		サービスプラットフォーム SWG	
		伝送網・電磁環境専門委員会	継続
		装置機能・管理 SWG	
		多重分離インタフェースと網同期 SWG	
		情報通信装置の EMC・ソフトウェア SWG	
		アクセス網専門委員会	継続
		次世代光アクセス網 SWG	
		ハイブリッドアクセス網 SWG	
		光ファイバ伝送専門委員会	継続
		光ファイバシステム SWG	
	光ファイバファイバケーブル SWG		

### 2.2.2 会合開催状況

COVID-19 の世界的流行下で、一部会合の見送りや計画の見直し等が発生しているが、オンラインの運営で、取り組みの進捗に大きな影響や課題は発生していない。オンラインの会合開催により、遠隔地からの参加や会議の一部参加が可能になるといった利便を通じ参加者が拡大した専門委員会もあった。

COVID-19 の収束後を見据えた会議運営はオンラインまたはオンラインと TTC 会議室への集合を併用したハイブリット形式で要望が一致。オンラインまたはハイブリッド形式で質の高い活動を実現するための対応を継続実施。

表 6 専門委員会・サブワーキンググループ(SWG)・アドホックグループ(AHG)の会合開催状況

専門委員会・SWG・AHG	回数
マルチメディア応用専門委員会	1
マルチメディア応用専門委員会 IPTV-SWG	1
マルチメディア応用専門委員会 電子情報健康管理 SWG	1
マルチメディア応用専門委員会 アクセシビリティ SWG	1

マルチメディア応用専門委員会 メディア符号化・通信 SWG	1
マルチメディア応用専門委員会 ILE SWG	1
マルチメディア応用専門委員会 マシンビジョン SWG	9
コネクテッド・カー専門委員会	11
BSG 専門委員会	6
BSG 専門委員会(メール審議)	1
IoT・スマートシティ専門委員会	4
IoT・スマートシティ専門委員会 ICTと気候変動 SWG	1
AI 活用専門委員会	12
oneM2M 専門委員会	4
セキュリティ専門委員会	5
企業ネットワーク専門委員会	8
企業ネットワーク専門委員会 企業網インタフェース SWG	10
企業ネットワーク専門委員会 消防指令システム SWG	2
企業ネットワーク専門委員会 消防指令システム SWG 作業班	6
信号制御専門委員会(メール審議)	2
信号制御専門委員会 SIP SWG	7
信号制御専門委員会 SIP SWG(メール審議)	1
信号制御専門委員会 NGN 信号アップストリーム SWG(メール審議)	1
網管理専門委員会 通信ネットワーク運用管理 SWG	3
網管理専門委員会 通信サービス品質評価 SWG	4
番号計画専門委員会	5
Network Vision 専門委員会 NGN アップストリーム SWG	7
移動通信網マネジメント専門委員会	2
3GPP 専門委員会	4
IoT エリアネットワーク専門委員会	11
IoT エリアネットワーク専門委員会 サービスプラットフォーム SWG	11
IoT エリアネットワーク専門委員会 通信インタフェース SWG	11
伝送網・電磁環境専門委員会	1
伝送網・電磁環境専門委員会 装置機能・管理 SWG	5
伝送網・電磁環境専門委員会 多重分離インタフェースと網同期 SWG	1
光ファイバ伝送専門委員会	1
光ファイバ伝送専門委員会 光ファイバケーブル SWG	2
光ファイバ伝送専門委員会 光ファイバシステム SWG	3



アクセス網専門委員会	1
アクセス網専門委員会 次世代光アクセス網 SWG	4
ITU-T FG AN 対応 AHG	8

### 2.2.3 主な活動成果

- ・ 18の専門委員会で標準化動向・新規標準化課題の調査、国際標準化機関への提案、TTCドキュメントを作成(標準・仕様書・技術レポート・調査報告書)。
- ・ 2021年度の目標達成状況を含む2022年度中期標準化戦略を策定し、企画戦略委員会および標準化会議で承認(別紙4)。
- ・ ITU-Tの各スタディグループ(SG: Study Group)における標準勧告の制定やFGにおける新規課題の発掘に貢献するため提出した寄書数や、TTC標準等の制改定数は下表のとおり。oneM2Mや3GPPへの提案は、各パートナーシッププロジェクトに参加するTTC会員より提案。

表 7 寄書・標準等制改定数

	2019年度	2020年度	2021年度
寄書数	158	96	108
最も貢献した 専門委員会(数)	伝送網・電磁環境 (39)	伝送網・電磁環境 (21)	伝送網・電磁環境 (31)
TTC標準制改定	14	25	16
仕様書制改定	560	1256	707
内3GPP	536	1252	704
技術レポート 制改定	15	43	10
内3GPP	1	40	1

- ・ 詳細は別紙5-1,5-2,5-3を参照のこと。

## 2.3 IPR委員会

標準必須特許に関する啓発活動の一環として、TTCレポート7月号に「標準必須特許紛争及び移動通信システムの歴史的流れと課題」(株式会社サイバー創研 TTC IPR委員会委員 鶴原 稔也氏)と題する記事を企画/掲載。

## 3 業際イノベーション

### 3.1 業際イノベーションワーキングパーティ

分野横断的な活動として業際イノベーションワーキングパーティ(WP)を推進。以下の活動を実施。

- ・ 高精細映像データ医療応用研究会
  - ・ 8K内視鏡などの医療用高精細画像の色彩情報に関する標準化(ITU-T への寄書提案)を目指し検討を継続実施
  - ・ 一般社団法人メディカル・イノベーション・コンソーシアム、内視鏡・映像関係企業、放送関係者が参加し、議論の成果を ITU-T に提案に向けて検討を継続実施
  - ・ 2021 年度は、会合を 1 回開催
- ・ BHQ (Brain Healthcare Quotient)
  - ・ 脳の健康の維持・向上に向け、脳の MRI 画像をベースに脳健康状態を表す単位として開発された BHQ(Brain Healthcare Quotient) に関する情報交換、利活用事例の調査研究、実証実験、普及展開などを継続実施中
  - ・ ITU-T SG16 における脳情報プラットフォーム(勧告化完了)のユースケース検討などでの連携
  - ・ 家電、食品、医療機器、日用品メーカーなどの BHQ コンソーシアム会員企業が参加
  - ・ 2021 年度は、会合を4回開催

### 3.2 スマート IoT 推進フォーラム

IoT・ビッグデータ(BD)・人工知能(AI)等の技術の発展により、グローバルに、あらゆる分野で、その産業・社会構造が大きく変革しつつあることを踏まえ、IoT 等に関する技術の開発・実証を推進するなど、産学官を挙げて新たな時代の変化に挑戦することを目的として 2015 年 10 月に設立された「IoT 推進コンソーシアム」の下に、IoT 関係の技術開発・実証を推進する技術開発ワーキンググループとして設置されたフォーラム「スマート IoT 推進フォーラム」の事務局運営支援として以下活動を実施。

#### 技術・標準化分科会

- ・ IoT 通信技術に関する国内外の動向把握と技術・標準戦略、普及展開戦略の検討等を実施。
- ・ 2021 年度は、分科会会合を 11 回開催  
3 つのタスクフォースにて、IoT 情報モデルの検討、エリアネットワーク運用管理規定の検討、センサ情報を使用したインフラ構造物の維持管理に関する検討を推進中。

#### テストベッド分科会

- ・ IoT・ビッグデータ(BD)・人工知能(AI)等に関する、技術実証・社会実証を促進するテストベッドの要件とその利活用促進策の検討を行うことを目的とし、分科会、コアメンバー会議、各種検討会にて活動。
- ・ 2021 年度は、分科会会合を 2 回開催  
データ分・析可視化タスクフォースに加えユーザ連携・循環進化検討タスクフォースを新たに立ち上げ、テストベッドの利用者連携促進、5G の研究開発促進を推進中。

## IoT 価値創造推進チーム

- ・ 各部会・分科会等の活動状況を踏まえた組織横断的な取組みの推進、及び会員向けサービス拡充に向けた取組みの推進
- ・ 2021 年度は、チーム会合を 1 回開催。  
主な実績は、IoT 導入事例紹介(19 件)、IoT 先進企業訪問記配信(14 件)、  
会員向け情報発信(51 件)、会員と連携したイベント開催(2 件)、会員イベント後援等(6 件)。
- ・ IoT 導入事例として紹介した企業から講師を招きセミナー「IoT/データ活用の最前線(その1)～先進事例から見る社会課題・業界課題の解決策～」(2021 年 7 月)、「先進事例から見る DX/イノベーションの起こし方」(2021 年 8 月)を開催。(TTC 主催、スマート IoT 推進フォーラム後援)

## 4 他団体等との連携・協力

### 4.1 国際

国際連携アドバイザリーグループを中心に、他の国際標準化機関・団体等との橋梁、連携強化のための活動を実施した。ITU-T TSAG への対処方針の策定や、APT 関連会合で中心的な役割を果たした。

#### 4.1.1 ASTAP (Asia-Pacific Telecommunity Standardization Program) 第 33 会合

- ・ 岩田専務理事が、副議長として Industry Workshop の企画、実施(5G, 非常時通信)
- ・ ASTAP 活動の活性化に向けたアドホック G 議長就任
- ・ 34 回会合(4 月開催)に向けた Industry・Standardization Workshop 企画

#### 4.1.2 APT (Asia-Pacific Telecommunity) WTSA 準備会合

- ・ 前田参与が議長として、11 月に最終 APT WTSA 準備会合を開催
- ・ 29 件の APT 共通提案を策定し、3 月に開催される ITU-T WTSA-20 に入力

#### 4.1.3 TSAG 第8回および第 9 回会合

- ・ NEC 永沼氏(TTC TSAG TF リーダ)が RG-WP のラポータに選任され、ITU-T 次々会期に向けた SG 再編アクションプランの議論およびとりまとめをリード
- ・ 次会期に向けた WTSA 決議、A シリーズ勧告等の作業方法の制改訂に向けた日本寄書提出、並びに国内議論を推進

#### 4.1.4 3GPP および oneM2M パートナーシッププロジェクト

- ・ 3GPP FFG 議長(TTC 事務局: 中村)/ oneM2M FC 議長(TTC 事務局: 山田)を務め、両パートナーシッププロジェクトの円滑な運営に貢献

#### 4.1.5 WTSA-20 会合

- ・ 前田参与が Plenary 会合副議長として運営に貢献
- ・ 日本として新会期における 9 名の SG/TSAG 議長・副議長職を獲得

## 4.2 国内

産業や技術分野を横断した取り組みが欠かせない協調領域において、産学官の橋渡し役として標準化活動を推進し、日本の産業の国際競争力強化に貢献することを目的に活動。限られた国内リソースの効率的な活用及び国内一体での標準化活動の推進のため、ITU と ISO/IEC JTC 1 とのリエゾン等の国際標準化団体間の連携を国内標準化団体間でも取り入れた活動を推進した。他団体等との連携成果や意見交換の場として共催セミナーを開催。2021 年度は計 9 団体との共催セミナーを実施した。

主な連携活動事例を以下に挙げる。

- ・ Beyond5G 推進活動

「Beyond5G 推進戦略」(2020 年 6 月総務省)推進を目的に 2020 年 12 月に設立された Beyond5G 推進コンソーシアムおよび Beyond5G 新経営戦略センターに、委員として参画。Beyond5G 実現に向けた提言等を実施。Beyond5G 国際カンファレンス 2021(2021 年 11 月)にて、自律性ワーキンググループに関し講演。

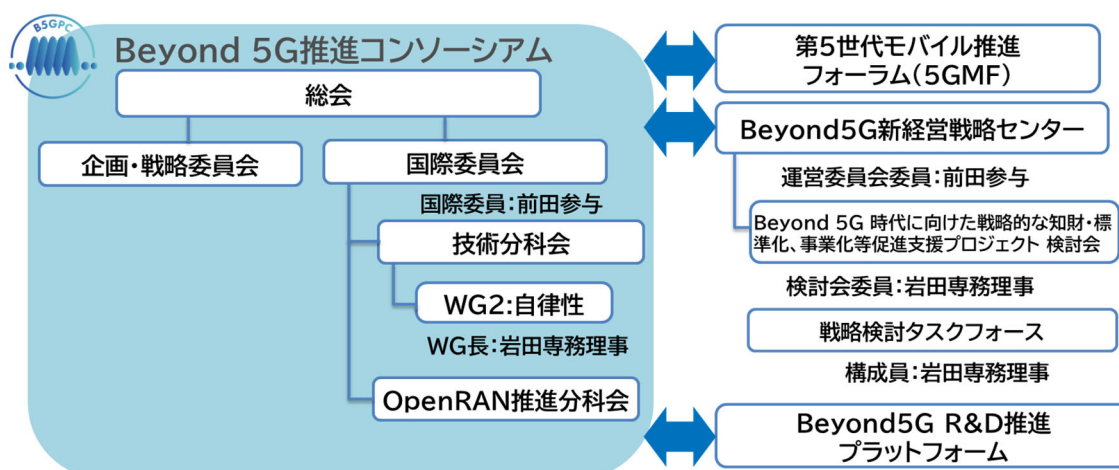


図 1 Beyond5G 推進活動

※委員名は 2022 年 3 月現在。2022 年 4 月より前田参与から岩田専務理事に引継ぎ。

- ・ IEC-APC

国内標準化団体間の連携についての TTC からの課題提起を契機とし、経済産業省、総務省の仲介のもと、2022 年 1 月に IEC 活動推進会議(IEC-APC: IEC Activities Promotion Committee of Japan)事務局、情報規格調査会との会合が実現。TTC から ITU-T TSAG SPCG(Standardization Programme Coordination Group)での活動状況や ITU-T と ISO/IEC JTC1 との連携状況を共有。意見交換や課題解決に向けて議論。

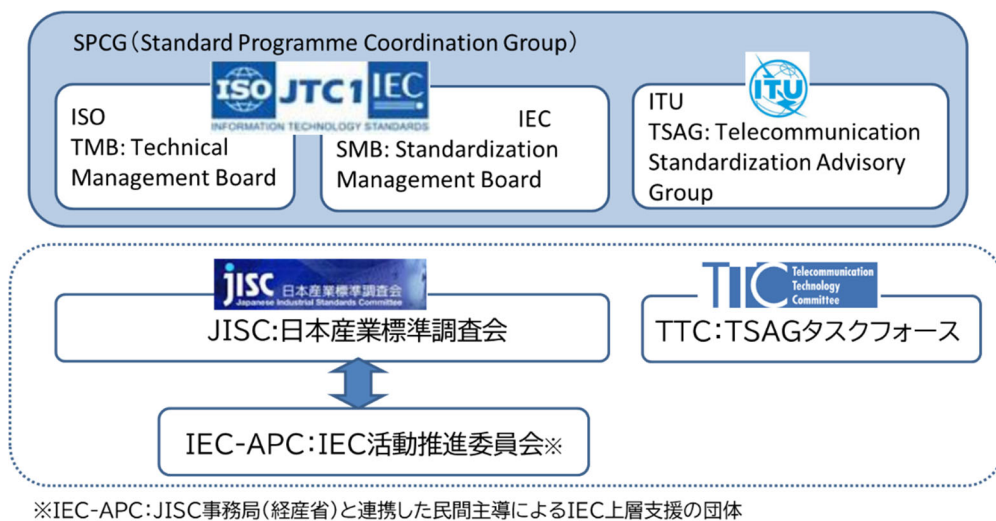


図 2 国内標準化団体の連携

- 情報処理学会、情報規格調査会

標準化エリアが ITU、JTC1 の枠組みを越えた上位レイヤに移るトレンドの中で、情報処理と情報通信ネットワークに関わる国内標準化団体の取組について、双方の国内審議団体間の戦略決定レベルの交流を通して、標準化課題の共通認識合わせや重複作業の回避を行い、国内および国際標準化における効率的な活動を促進することを目的に、2021 年 7 月に情報規格調査会との連絡会(第 9 回)を開催。セキュリティ、IoT、スマートシティ、AI 等、JTC1、ITU 共通テーマに関する情報共有・意見交換を実施。連絡会での議論結果等をもとに、情報処理学会、情報規格調査会とともに AI 倫理をテーマとしたセミナーの共催を実現(2022 年 2 月)。
- 量子 ICT フォーラム

2020 年 4 月に協力関係に関する覚書を締結。ITU-T、ETSI (European Telecommunications Standards Institute)、ISO/IEC JTC1 等での量子暗号の国際標準化活動で連携。Network Vision 専門委員会、セキュリティ専門委員会、信号制御専門委員会で ITU-T 勧告をベースとした国内標準を策定。2021 年 10 月に共催セミナー「量子時代のセキュリティ最前線」を開催。
- 日本インダストリアルイメージング協会(JIIA)

マルチメディア応用専門委員会の配下のサブワーキンググループとして、新たにマシンビジョン SWG を設立(2021 年 4 月)。JIIA が後援する国際画像機器展 2021(2021 年 12 月)に岩田専務理事が「分野・産業をつなぐ情報通信ネットワークの標準化の取り組みと展望」のタイトルで講演。
- 情報通信ネットワーク産業協会(CIAJ)、HATS フォーラム

情報通信ネットワーク産業協会(CIAJ)と共同で、コネクテッド・カー技術を災害時に利用した情報通信システム(V-HUB)の利活用に向けたガイドラインを作成(2022 年度制定)

予定)。CEATEC 2021 ONLINE(2021年10月)でV-HUB検討の背景とユースケース、避難訓練のシナリオおよび自治体へのヒアリングの概要を紹介。

- ・ World Wide Web Consortium(W3C)、Internet Engineering Task Force(IETF)  
2021年7月にWebRTCをテーマに共催セミナーを実施。2021年11月にWeb of Things(WoT)アーキテクチャに関するW3C勧告の邦訳をTTC標準として制定
- ・ 日本ITU協会  
日本ITU協会の出版編集委員として標準化活動の普及・広報に貢献。eスポーツや農業等情報通信作業以外でのICTの利活用に関する機関紙への執筆者の紹介等の連携。

## 5 調査

デジュール及びフォーラム標準に関する標準化活動の強化に資する調査等(総務省からの請負)を以下の内容で実施。

- ・ ITU-T、APTの標準化活動についてWTSA、TSAG、ASTAP等の会合に参加して調査を行うとともに、ITU-TのSG、FG活動を分析し、標準化活動の在り方を提言。また、標準化教育テキストの更新、標準化人材育成セミナーを実施(6人材育成を参照)。
- ・ 上記以外のデジュール/フォーラム標準化機関・団体に関する調査として、6つの標準化機関・団体(IEEE-SA、IETF、FIDO、OpenID、Sovrin、W3C)を選び、各団体のホームページの記載内容を基に、各種情報(目的、対象分野、構成、会員・会費等)を調査。
- ・ 前年度に公募で選定した調査者(8者)を通じて、IETF、ITU-T SG16、3GPP(Third Generation Partnership Project)、IEEE802、TMForum等における標準化動向の調査を実施するとともに、これら調査者が報告を行う外部向けセミナー(ICTビジネス戦略オンラインセミナー、オンライン形式)を2回開催(2022年1月、3月)。また、2022年度の調査者を公募し、有識者による評価(順位付け)を行ったうえで7者を選定。
- ・ 国際標準化の強化に関する支援活動の一環として、業際イノベーションワーキングパーティ(WP)の活動を支援(3.1業際イノベーションワーキングパーティを参照)。

## 6 人材育成

- ・ 標準化活動初心者には有益な教育ツール提供を目的として、標準化ノウハウを蓄積した手引書の継続的更新と標準化テキストを活用した人材育成プログラムを継続して実施。2022年2月に標準化人材育成オンラインセミナー「コロナ禍での国際標準化会合の動向」を開催。
- ・ 5Gネットワークを含む将来ネットワークにおけるAI/ML(人工知能/機械学習)の適用方法を検討する国際的なコンテストの第2回ITU AI/ML in 5G Challengeが開催。日本ラウンドの後援および受賞者発表会をRISING研究会と共催で実施(2021年11月)。FG-ML5Gの成果物をベースに作成されたAI/ML関連勧告の有効性検証と新たな標

準化検討の方向性を推進支援する機会を提供。

- ・ 2021年度より3GPP 専門委員会、移動通信網マネジメント専門委員会合同勉強会を実施。委員の知識・技術向上に資すると共に、若手標準化人材の活動人脈づくりを促進

## 7 普及・広報

### 7.1 TTC 標準・仕様書等の発行

- ・ 2021年度のTTC 標準類ダウンロード数は115,095件で昨年より減少(昨年比88%)したが過去3年の平均(104千件)を上回り増加傾向を維持。
- ・ 専門委員会別では信号制御専門委員会がもっとも多く、ほぼ同列で伝送網・電磁環境専門委員会、3GPP 専門委員会が続く。

表 8 TTC 標準類ダウンロード数

	2019年度	2020年度	2021年度
累計	97,361	131,163	115,095
TOP20 合計	31,557	41,965	32,373
月平均	8,113	10,930	9,591
専門委員会別 TOP3	信号制御 (25,403)	信号制御 (31,756)	信号制御 (26,220)
	伝送網・電磁環境 (20,872)	伝送網・電磁環境 (24,392)	伝送網・電磁環境 (20,937)
	マルチメディア応用 (9,256)	3GPP (13,254)	3GPP (20,615)

詳細は別紙 6 を参照のこと。

### 7.2 セミナーの開催

セミナーを専門委員会等での活動成果報告等の普及活動の他、新たなテーマの発掘、活動者の呼び込みとして活用。また他組織連携や会員へのサービス向上等の関係強化として開催。2021年度は全20回のセミナー実施。最も参加人数の多いセミナーで544名が参加。1回あたりの平均参加人数は157名と過去最高を更新し、TTCの活動の普及に貢献。

表 9 セミナー等実施回数と参加者の推移

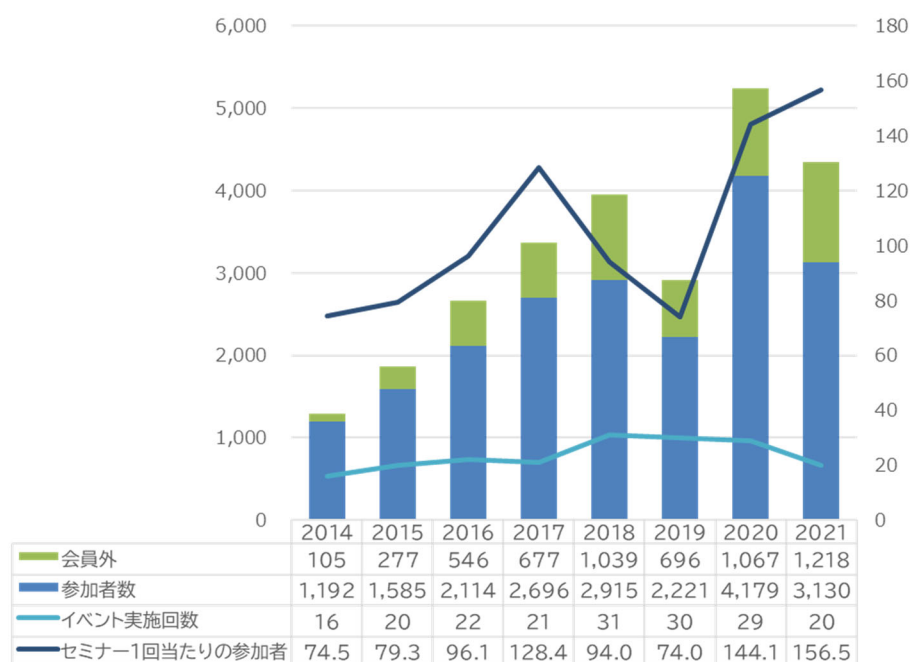


表 10 2021 年度参加者人数上位3セミナー

No.1	IPSJ・TTC 共催オンラインセミナー 世界で広がる AI 倫理の議論と活用に向けた取り組み (2022/2/9)	544 名
No.2	QICTF・TTC 共催オンラインセミナー 量子時代のセキュリティ最前線 (2021/10/12)	328 名
No.3	サラワク大学・サラワク工科大学共催オンラインセミナー Healthcare and IoT Solutions during the time of COVID-19 (2021/11/12)	183 名

詳細は別紙 7-1 を参照のこと。

### 7.3 Web サイトや機関誌等による情報発信

#### 7.3.1 Web サイト

会員以外も含めた情報発信のツールとして内容の充実化に継続的に取り組んだ。また掲載内容の最新化のための更新ルール等を整理。



表 11 2021 年度 Web サイト掲載情報

コンテンツ	内容	件数
トピックス	5つのカテゴリー(①お知らせ、②イベント、③募集案内、④標準類制定、寄書審議、⑤ブログ)に分けて、タイムリーに情報を掲載。	73件
ブログ	前田参与、岩田専務理事による国際会合の速報や標準化活動の解説、紹介等の情報発信	15件
セミナー・イベント 動画アーカイブ	2021 年度に開催したセミナーのうち講演者の許可が得られたものについてセミナーの記録動画をアーカイブとして会員向けに公開。	9件

#### 7.3.2 機関誌(TTCレポート)

会員向けに TTC レポートを年 4 回発行(2021 年 4 月、7 月、10 月、2022 年 1 月)。eスポーツ×SDGs 最前線や、変革を実現した先進事例など特集記事を展開。

#### 7.3.3 メール配信

TTC からの各種案内メールを登録者向けに配信。毎月初めにマンスリーレポートとして、月ごとの活動状況等を配信する他、セミナー等のイベント案内や、TTC 会員向けにはブログや TTC レポートの更新情報を随時配信。

#### 7.4 関連団体主催セミナーへの後援・協賛・協力

- ・ 関連する他団体等が主催するセミナー・ワークショップについて、5 件の後援・協賛を通じ連携を強化(別紙 7-2)。
- ・ 3 件の展示会等へ後援・協賛を実施(別紙 7-3)。

### 8 表彰

- ・ 表彰制度にもとづき表彰選考委員会を開催し、情報通信技術賞(総務大臣表彰、TTC 会長表彰)の対象者を選考(2021 年 4 月 22 日)。
- ・ 「2021 年度 情報通信技術賞・功労賞表彰式(2021 年 6 月 15 日)」にて総務大臣表彰(1 名)、TTC 会長表彰(6 名)、功労賞表彰(17 名)を行い、その功績を称えた(別紙 8)。
- ・ 表彰式は新型コロナウイルス感染症の状況に鑑み、受賞者と列席者の安全確保を最優先に考慮し、オンラインによる開催とした。また、新型コロナウイルス感染症の影響のため表彰式が中止となった 2020 年度に受賞された方々も紹介した。

### 9 業務運営状況

#### 9.1 規程等の整備

記載すべき事項なし。

## 9.2 会議等の実施

総会、理事会、評議会の実施状況は、次のとおりである。

表 12 総会、理事会、評議会の実施状況

会議名	実施日	主な議題
第 53 回評議会	2021/5/21	・2020 年度標準作成状況について
第 217 回理事会	2021/5/21	・2020 年度事業報告及び附属明細書について ・2020 年度貸借対照表及び正味財産増減計算書並びにそれらの附属明細書について ・役員候補の推薦について ・評議会委員の選任について ・標準化会議議長及び副議長の承認について ・企画戦略委員の選任について ・受賞者選考の報告について ・入会の承認について
第 60 回定時総会	2021/6/15	・2020 年度事業報告及び附属明細書の件 ・2020 年度貸借対照表及び正味財産増減計算書並びにそれらの附属明細書の件 ・役員選任の件
第 218 回理事会(書面)	2021/10/15 ~ 10/25	・企画戦略委員の選任について ・事務局長の承認について ・入会の承認について
第 219 回理事会	2022/2/25	・2022 年度事業計画について ・2022 年度収支予算について ・表彰選考委員会委員の選定について

## 9.3 会員及び財務

- ・ 財務面では、会費口数が計画口数を下回ったが、新型コロナウイルス感染症の影響に伴う支出の減や調査研究受託業務の収入等により黒字決算を実現。
- ・ 会員数及び会費口数の増加に向けて、新規標準化テーマへの積極的な取り組み等標準化活動の活性化に向けた専門委員会の体制整備、会議やセミナー開催を支援する補助金確保に向けた取り組みを実施。
- ・ 専門委員会等の活動報告やセミナーの充実、ホームページからの情報発信、会議室の環境整備など、会員数及び専門委員会登録数の増加に向けた施策を強化するとともに、経費削減に向けたきめ細かな取り組みを実施。

2021 年度に取り組んだ主な環境整備・経費節減施策は以下の通り。

- ・ TTC 会議室環境整備(アクリル板等の購入)
- ・ Web(オンライン)会議環境の充実
- ・ データベースサービスを活用した会員等へのメール配信業務の効率化
- ・ TTC 標準仕様作成の自動化ツールの改良

表 13 2021 年度における会員の推移

会員種別	2020 年度末	2021 年度末	2021 年度における変動
正会員	77	75	入会2社、正会員から賛助会員への種別変更 2 社、退会 2 社
準会員	2	1	退会 1 社
賛助会員	10	12	正会員から賛助会員への種別変更 2 社
協力会員	9	8	退会 1 社
合計	98	96	

表 14 2021 年度における専門委員会登録数の主な推移

専門委員会	変動
Network Vision	新規登録 3 社
マルチメディア応用、網管理、移動通信マネジメント	新規登録 1 社
IoT エリアネットワーク	新規登録 1 社、退会 1 社
セキュリティ、信号制御、伝送網・電磁環境	退会 1 社
IoT・スマートシティ、AI 活用	退会 2 社

#### 9.4 運営改善

- ・ ワーク・ライフ・バランスの実現と、事務局運営の円滑化・効率化を促進するため女性活躍推進法に基づき策定した行動計画について、昨年度に引き続きノー残業デー及び有給休暇取得促進を実施。また、次年度以降の行動計画を策定し、取り組みを継続。
- ・ 新型コロナウイルス感染症(COVID-19)拡大防止の観点から、TTC 会員、非会員及び事務局職員の健康と安全を確保するため、会議及びセミナーを従来の臨場(TTC会議室を利用)方式に加え、Web 会議(オンライン会議)を活用しているが、今年度は更にツールなどを充実。事務局職員のシフト勤務の試行実施や在宅勤務の試行実施などを継続し、事業運営を柔軟に対応。
- ・ 3GPP 専門委員会の活動を通し、四半期ごと進めている TTC 標準仕様の作成(ダウンストリーム作業)において、これまで手作業で行ってきた作業に対し、自動化ツール等の運用を継続的に改良し、人為エラーの回避と工程時間の大幅な短縮を実現。

## (1)企画戦略委員会 委員長・副委員長・委員一覧

役職	氏名	会員名
委員長(標準化会議議長)	古川 聖	東日本電信電話株式会社
副委員長(標準化会議副議長)	大谷 朋広	KDDI 株式会社
委員	石岡 譲	富士通株式会社
委員	表 英毅	ソフトバンク株式会社
委員	鹿嶋 正幸	沖電気工業株式会社
委員	澤田 政宏	株式会社 NTT ドコモ
委員	樽屋 克彦	株式会社日立製作所
委員	辻河 亨	日本電信電話株式会社
委員	山田 徹	日本電気株式会社
委員	渡辺 伸吾	KDDI株式会社

## (2)部門・専門委員会・AG の担当企画戦略委員

部門	専門委員会・アドホック等
ICT 活用アプリケーション: 石岡、山田、樽屋、澤田	<ul style="list-style-type: none"> <li>・マルチメディア応用:石岡</li> <li>・コネクテッド・カー:樽屋</li> <li>・BSG:山田</li> <li>・IoT・スマートシティ:澤田、山田</li> </ul>
プラットフォーム: 石岡、樽屋、渡辺	<ul style="list-style-type: none"> <li>・AI 活用:石岡、樽屋</li> <li>・oneM2M:渡辺</li> <li>・セキュリティ:樽屋</li> <li>・企業ネットワーク:樽屋</li> </ul>
プロトコル・NW 管理・品質: 辻河、表	<ul style="list-style-type: none"> <li>・信号制御:辻河</li> <li>・番号計画:辻河</li> <li>・網管理:表</li> </ul>
アーキテクチャ: 辻河、中野、澤田	<ul style="list-style-type: none"> <li>・Network Vision:辻河、渡辺</li> <li>・移動通信網マネジメント:澤田、渡辺</li> <li>・3GPP:澤田、渡辺</li> </ul>
トランスポート・アクセス・エリア NW: 鹿嶋、表	<ul style="list-style-type: none"> <li>・IoT エリアネットワーク:鹿嶋</li> <li>・伝送網・電磁環境:表</li> <li>・光ファイバ伝送:表</li> <li>・アクセス網:表、鹿嶋</li> </ul>
アドバイザリーグループ	<ul style="list-style-type: none"> <li>・国際連携:山田</li> <li>・技術調査:山田</li> </ul>

## (1)標準化会議の審議経過

内容	標準化会議回数			
	第 131 回	第 132 回	第 133 回	第 134 回
標準案の周知	2021.3.5 (Web 公開)	2021.6.4 (Web 公開)	2021.9.10 (Web 公開)	2021.12.3 (Web 公開)
標準案説明会	中止 (注 1)	光ファイバ伝送 2021.6.21	伝送網・電磁環境 2021.9.22 IoT エリア ネットワーク 2021.9.22	セキュリティ 2021.12.13 2021.12.22 その他委員会 中止(注 1)
標準案に対する 意見・対案の募集	2021.3.5 ～ 2021.3.26	2021.6.4 ～ 2021.6.25	2021.9.10 ～ 2021.10.1	2021.12.3 ～ 2022.1.7
対処方針の 周知(1 回目)	中止 (注 2)	中止 (注 2)	中止 (注 2)	中止 (注 2)
対処方針に対する 意見・対案の募集	—	—	—	—
対処方針の 周知(2 回目)	—	—	—	—
票決実施の 議長決定周知	2021.4.23 (E-Mail)	2021.7.30 (E-Mail)	2021.10.29 (E-Mail)	2022.2.4 (E-Mail)
電子投票実施	2021.5.14 9:00 ～ 2021.5.20 15:00	2021.8.20 9:00 ～ 2021.8.26 15:00	2021.11.5 9:00 ～ 2021.11.11 15:00	2022.2.18 9:00 ～ 2022.2.24 15:00

## 【内容欄の説明】

標準案の周知:標準案に対する意見および対案の提出依頼および IPR 声明書の提出依頼。

標準案説明会:原則として「標準案に対する意見・対案の締切日」までに開催。

対処方針の周知:意見・対案に対し、当該専門委員会として対処方針を示す。

(注 1):標準案説明会を案内したが、参加希望者が 1 名以下だったため、個別に対応し説明会は中止

(注 2):標準案に対する意見・対案の提出がなかったため中止

(2)2021 年度標準の制改定件数および意見・対案の提出状況

標準化会議 (投票締切日)	標準作成状況 (注1)			意見・対案の提出状況(件数)								
	新規	改定	廃止	標準化会議委員提案				専門委員会自主提案				
				技術内容に関するもの		記述形態に関するもの		技術内容に関するもの		記述形態に関するもの		
				提案	採用	提案	採用	提案	採用	提案	採用	
第131回 (2021.5.20)	5	4	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
第132回 (2021.8.26)	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
第133回 (2021.11.11)	2	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
第134回 (2022.2.24)	2	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
計	10	6	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0

(注1)本表に記載の「改定」以外に、単なる誤記訂正等、技術的内容には変更が無い改定は当該専門委員会での承認のみで改定版の制定が行えるので、その数値は本表には含まれていない。

(3)制改定及び廃止した標準等の年度別の件数推移

以下の標準類の制改定数と廃止数には、標準類の英訳版((E)標記のドキュメント番号の標準類)、および標準の単なる誤記訂正による改定は含めていない。

① 標準類の年度別「制定・改定・廃止」件数推移 (3PPP/3GPP2 以外)

区分	年度	2017	2018	2019	2020	2021
標準	制定	9	17	11	10	10
	改定	6	7	3	15	6
	廃止	0	0	0	0	0
仕様書	制定	0	22	24	2	0
	改定	0	1	1	2	3
	廃止	0	0	0	0	0
技術レポート	制定	6	8	11	2	5
	改定	3	1	3	1	4
	廃止	0	0	0	0	0

(参考)2021 年度英訳版:改定 2 件。誤記訂正:改定 5 件。

② 3GPPおよび3GPP2の標準類の年度別「制定・改定・廃止」件数推移

区分	年度	2017	2018	2019	2020	2021
仕様書	制定	195	1,952	535	1,252	704
	改定	0	0	0	0	0
	廃止	0	0	3	0	0
技術レポート	制定	3	90	1	40	1
	改定	0	0	0	0	0
	廃止	0	19	0	0	0

③ TTC 標準類の累積件数(3GPP/3GPP2 を含む 2021 年度累計)

	年度	2017	2018	2019	2020	2021
標準類	標準	869	886	897	907	917
	仕様書	11,998	13,972	14,528	15,782	16,486
	技術レポート	546	625	637	679	685

④ TTC 標準類英訳版の制改定及び廃止(参考)

種別	専門委員会名	年月日	制改定及び廃止した標準類の番号とタイトル
標準	信号制御	2021.5.20	JJ-90.30(E)(改定 第9版) Common interconnection interface Between IMS operator's networks(English Edition)
			JJ-90.32(E)(改定 第4版) Common interconnection interface for SIP domain name resolution based on DNS(English Edition)

⑤ TTC 標準の誤記訂正による改定(参考)

種別	専門委員会名	改定年月日	改定した標準番号とタイトル
標準	セキュリティ	2021.4.1	JT-X1710(改定 第1.1 版) 量子鍵配送ネットワークのセキュリティフレームワーク
	Network Vision	2021.6.11	JT-Y3800(改定 第1.1 版) 量子鍵配送ネットワークの概要
			JT-Y3802(改定 第1.1 版) 量子鍵配送ネットワーク 機能アーキテクチャ
			JT-Y3803(改定 第1.1 版) 量子鍵配送ネットワーク - 鍵管理
			JT-Y3804(改定 第1.1 版) 量子鍵配送ネットワーク - 制御と管理

## 専門委員会 委員長・副委員長一覧

2022年3月末日現在

部門	専門委員会名	委員長	副委員長
ICT 活用アプリケーション	マルチメディア応用専門委員会	山本 秀樹 (沖電気工業株)	芹沢 昌宏 (日本電気株)
	コネクテッド・カー専門委員会	千村 保文 (沖電気工業株)	鈴木 邦一 (株デンソー)
	BSG 専門委員会	荒木 則幸 (日本電信電話株)	小林 真弓 (富士通株)
	IoT・スマートシティ専門委員会	山田 徹 (日本電気株)	後藤 良則 (日本電信電話株)
プラットフォーム	AI 活用専門委員会	宮澤 雅典 (KDDI株)	西松 研 (日本電信電話株)
	oneM2M 専門委員会	山本 賢一 (KDDI株)	山崎 育生 (日本電信電話株)
	セキュリティ専門委員会	三宅 優 (KDDI株)	夏川 勝行 (日本電信電話株)
	企業ネットワーク専門委員会	馬場 秀和 (富士通株)	須藤 一郎 (岩崎通信機株)
プロトコル・NW 管理・品質	信号制御専門委員会	蓑田 学 (KDDI株)	斉藤 壮一郎 (沖電気工業株)
	網管理専門委員会	高呂 賢治 (沖電気工業株)	清水 智明 (NTTコムウェア株)
	番号計画専門委員会	伊藤 努 (日本電信電話株)	井上 統之 (KDDI株)
アーキテクチャ	Network Vision 専門委員会	後藤 良則 (日本電信電話株)	桑原 幹夫 (株日立製作所)
	移動通信網マネジメント 専門委員会	横田 大輔 (ソフトバンク株)	相川 慎一郎 (富士通株)
	3GPP 専門委員会	増田 陽子 (シャープ株)	石川 寛 (株NTTドコモ)
トランスポート・ アクセス・エリア NW	IoT エリアネットワーク 専門委員会	西川 嘉樹 (日本電信電話株)	高呂 賢治 (沖電気工業株)
	伝送網・電磁環境専門委員会	村上 誠 (日本電信電話株)	斧原 聖史 (三菱電機株)



	アクセス網専門委員会	岡崎 浩治 (ソフトバンク株)	水口 潤 (三菱電機株)
	光ファイバ伝送専門委員会	中島 和秀 (日本電信電話株)	飯塚 哲也 (ソフトバンク株)

## 中期標準化戦略(2021年度活動報告)

中期標準化戦略(2021年度重点取り組みと活動報告)		専門委員会・AG名	マルチメディア応用専門委員会	
重点取り組みと成果	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 会員からの要望で、マシンビジョン-SWG新設。22年1月のSG16で寄書提案1件。</li> <li>・ 全体では国際標準化団体アップストリーム17件 (ITU-T寄書16件、ASTAP寄書1件) 国内向けに、セミナー1件、国内標準仕様書0件、ダウンストリーム2件、記事掲載3件、国際画像機器展でのJIIAとの連携紹介1件を実施。</li> </ul>			
主な活動項目	概況指標	2021年度目標(当初計画時)	2021年度実施状況	記事
① アップストリーム 他団体との連携	寄書数	15件程度	17件 (SG16 4月:5件、ASTAP:1件、SG16 1月:11件)	
	外部会合への参加・連携状況	SG16会合: 4月、1月 ASTAP-33: 第2四半期	・ITU-T SG16会合: 4月、1月、9月(WP2/16) ・ASTAP-33: 6月	
② ドキュメント作成 国内標準 仕様書 レポート	JJ標準	各SWGで設定	なし	
	TS/TR/SR	各SWGで設定	なし	
③ ダウンストリーム	数	各SWGで設定	2件 ・JT-H430.5 (超高臨場ライブ体験(ILE: Immersive Live Experience) ILE表示環境の参照モデル) ・JT-H266 (多用途ビデオ符号化方式)	
④ プロモーション 普及推進	セミナー	各SWGで設定	以下のとおり開催 ・7/16: 「コロナ禍における情報アクセシビリティの向上」	
	記事投稿、講演会	適宜SG会合の結果報告、ドキュメント作成、 ダウンストリームの概要をTTCLレポートに寄稿する。	・TTCLレポート7月号に標準類制定状況「JT-H430.4」の 記事を寄稿 ・TTCLレポート7月号にSG16会合の記事を寄稿 ・TTCLレポート10月号に「コロナ禍における情報アクセシビ リティの向上」セミナー報告を寄稿 ・国際画像機器展(12/1-3)にて JIIA-TTC連携取組に 関するパネル展示	

中期標準化戦略(2021年度重点取り組みと活動報告)		専門委員会・AG名	IPTV-SWG	
重点取り組みと成果	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 会員企業のビジネスメリットのある国際標準化を推進することとし、新サービスやグローバル展開に向けたアップストリーム活動を継続</li> <li>・ IPTVフォーラム及びDSCの規格検討に合わせ同団体との連携を継続。国内外への普及の観点から必要に応じて必要となる勧告を日本主導で整備</li> <li>・ 会員企業の要望に応じてビジネス展開に資するダウンストリームを継続検討(実施には至らず)。</li> </ul>			
関連する専門委員会とその内容				
主な活動項目	概況指標	2021年度目標(当初計画時)	2021年度実施状況	記事
① アップストリーム 他団体との連携	寄書数	2件程度	2件	
	外部会合への参加・連携状況	ITU-T SG16会合: 4月、1月 ASTAP-33: 第2四半期	ITU-T SG16会合: 4月、1月 ASTAP-33: 6月	
② ドキュメント作成 国内標準 仕様書 レポート	JJ標準	0件	0件	
	TS/TR/SR	0件/0件/0件	0件/0件/0件	
③ ダウンストリーム	数	1件	0件	
④ プロモーション 普及推進	セミナー	マルチメディア応用専門委員会のセミナーに協力		
	記事投稿、講演会			

- ・APT (Asia-Pacific Telecommunity) : アジア・太平洋地域のICT分野の標準化活動を強化し、地域として国際標準の策定に貢献することを目的として設立された共同体
- ・ASTAP (APT Standardization Program) : APT内の標準化機関
- ・IPTVフォーラム: Internet Protocolを使用した動画配信の仕様の標準化と普及を目的とした国内標準化のための一般社団法人。HTML5の作業グループがハイブリッドキャスト技術仕様を策定
- ・DSC (一般社団法人デジタルサイネージコンソーシアム) : デジタルサイネージ産業の課題解決と新市場の創出と生活シーンでのサイネージ体験価値向上をミッションとする組織。相互接続ガイドラインを作成
- ・W3C (World Wide Web Consortium) : World Wide Webで使用される各種技術の標準化を推進する為に設立された非営利標準化団体。
- ・NexCDiフォーラム (映像配信高度化機構) : 高度映像技術及び高速大容量通信を活用した高度映像配信サービスの技術的な検証を加速し、本サービス開始と普及・展開を推進するため設立された機構

中期標準化戦略 (2021年度重点取り組みと活動報告)		専門委員会・AG名	電子情報健康管理SWG		
重点取り組みと成果	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ Safe Listening勧告の普及・医療用UHD応用関連勧告の推進。脳情報プラットフォーム関連勧告化、アクセシブル遠隔医療の普及</li> <li>・ AIと保険医療標準化のフッチ;</li> <li>・ 脳情報関連の新規テーマの検討</li> </ul>				
関連する専門委員会とその内容	TTC-SWG1305'と医療におけるEMCについて協議。				
主な活動項目	概況指標	2021年度目標 (当初計画時)		2021年度実施状況	記事
① アップストリーム 他団体との連携	寄書数	4件		7件	
	外部会合への参加・連携状況	ITU-T SG16会合：2021年4、2022年1月		ITU-T SG16会合：2021年4、2022年1月	
② ドキュメント作成 国内標準 仕様書 レポート	JJ標準				
	TS/TR/SR	0件/0件/0件		0件	
③ ダウンストリーム	数	0件		0件	
④ プロモーション 普及推進	セミナー	・年度内に数回セミナーを開催する		7月にTTCオンラインセミナー「コロナ禍における情報アクセシビリティの向上」開催	
	記事投稿、講演会	TTCレポート、ITUジャーナル等		ITUジャーナル6月号、8月号、1月号にITU-T FG-AI4Hの会合報告を寄稿	

中期標準化戦略 (2021年度重点取り組みと活動報告)		専門委員会・AG名	アクセシビリティSWG		
重点取り組みと成果	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ Net119のサービス普及を側面からサポート (相互接続試験の場所提供など)</li> <li>・ 電話リレーサービスが2021年度からスタートするのに合わせ、必要に応じて標準化 (ガイドライン等) を検討</li> </ul>				
関連する専門委員会とその内容					
主な活動項目	概況指標	2021年度目標 (当初計画時)		2021年度実施状況	記事
① アップストリーム 他団体との連携	寄書数	2件程度		-	
	外部会合への参加・連携状況	・ITU-T SG16会合：4月、1月 ・IPTVアクセシビリティコンソーシアムとの連携		ITU-T SG16会合：2021年4、2022年1月	
② ドキュメント作成 国内標準 仕様書 レポート	JJ標準	0件			
	TS/TR/SR	0件/0件/0件			
③ ダウンストリーム	数	1件		-	
④ プロモーション 普及推進	セミナー	・年度内にセミナーを1回開催 (電話リレーサービスの勉強会なども検討)		7/16：「コロナ禍における情報アクセシビリティの向上」	
	記事投稿、講演会				

中期標準化戦略 (2021年度重点取り組みと活動報告)		専門委員会・AG名	メディア符号化・通信SWG		
重点取り組みと成果	<ul style="list-style-type: none"> <li>最新のビデオ符号化標準(H.266)のダウンストリーム活動</li> <li>相互接続上の課題があれば、HATSフォーラムと連携した取り組みを実施</li> <li>FAX端末の要望に基づく活動の推進</li> </ul>				
関連する専門委員会とその内容					
主な活動項目	概況指標	2021年度目標 (当初計画時)	2021年度実施状況	記事	
① アップストリーム 他団体との連携	寄書数				
	外部会合への参加・連携状況	HATSとの連携 JT-T38に関連して、HATSフォーラムにて接続試験の実施要領制定と、接続試験の実施が検討されている。試験実施後に、TTC標準JT-T38へのフィードバック要否等のヒアリングを行って、今後も連携を図る。	HATSとの連携 JT-T38に関連してHATSフォーラムの活動注視。 TTC標準JT-T38の相互接続試験結果、フィードバック要否について確認中。		
② ドキュメント作成 国内標準 仕様書 レポート	JJ標準		-		
	TS/TR/SR	0件/0件/0件	0件/0件/0件		
③ ダウンストリーム	数	1件 TS: 回 TR: 回	・TTC簡略標準化 JT-H266v1の審議中。		
④ プロモーション 普及推進	セミナー	マルチメディア応用専門委員会のセミナーに要望に基づいて協力			
	記事投稿、講演会				

中期標準化戦略 (2021年度重点取り組みと活動報告)		専門委員会・AG名	ILE-SWG		
重点取り組みと成果	<ul style="list-style-type: none"> <li>ITU-Tにおけるプレゼンス確保の観点から、ILEに関する基本勧告のメンテナンスや個別技術に関する勧告化に向けた活動を継続</li> <li>ILEに関連する振動伝送に関する作業項目を提案</li> <li>ILE勧告の国内認知を高めるため、ITU-T勧告のダウンストリームを実施 (プロセス中)</li> </ul>				
主な活動項目	概況指標	2021年度目標 (当初計画時)	2021年度実施状況	記事	
① アップストリーム 他団体との連携	寄書数	-	4件		
	外部会合への参加・連携状況	ITU-T SG16会合: 4月、1月	ITU-T SG16会合: 4月、1月 Q8/16ラポータ会合: 10月		
② ドキュメント作成 国内標準 仕様書 レポート	JJ標準	0件			
	TS/TR/SR	0件/0件/0件	0件/0件/0件		
③ ダウンストリーム	数	1件	1件 (1月現在審査プロセス中) JT-H430.5 (超高臨場ライブ体験(ILE: Immersive Live Experience)): ILE表示環境の参照モデル)		
④ プロモーション 普及推進	セミナー	マルチメディア応用専門委員会のセミナーに協力する			
	記事投稿、講演会				

中期標準化戦略 (2021年度重点取り組みと活動報告)		専門委員会・AG名	マシビジョンSWG		
重点取り組みと成果	<ul style="list-style-type: none"> <li>ITU-T SG16 Q5,Q21のマシビジョンに関する寄書調査、問題提起</li> <li>JIIA、及びそのアライアンスするマシビジョン業界団体での標準化活動と連携</li> <li>国際標準化動向の情報提供のための国内向けセミナー</li> </ul>				
関連する専門委員会とその内容					
主な活動項目	概況指標	2021年度目標 (当初計画時)		2021年度実施状況	記事
① アップストリーム他団体との連携	寄書数	-		0件	
	外部会合への参加・連携状況	-		参加：ITU-T SG16会合：1月(予定) ITU-T RGM Q21:9月 ITU-T RGM Q5 :10月 連携：JIIAとの連携	
② ドキュメント作成国内標準仕様書レポート	JJ標準	-		0件	
	TS/TR/SR	-		0件/0件/0件	
③ ダウンストリーム	数	-		0件	
④ プロモーション普及推進	セミナー	-		2件：12/2,3 国際画像機器展セミナー	
	記事投稿、講演会	-		1件：JIIA-TTC連携取組に関するパネル展示 (12/1-3 国際画像機器展)	

中期標準化戦略 (2021年度重点取り組みと活動報告)		専門委員会・AG名	コネクテッド・カー専門委員会		
重点取り組みと成果	コネクテッド・カーに関する最近の国内外の動向に注視し、標準化活動を実施 (1) 災害時ITS応用：自動車を用いた防災・減災システム (VHUB) の普及に向け、利活用ガイドライン制定のためにCIAJとの合同会議を設置 ⇒ 自治体とアテンドを実施 (CIAJが総務省から受託した調査)、CEATECコンファレンスで講演実施。 (2) ITSセキュリティ：セキュリティ専門委員会と連携し、V2Xに関するセキュリティガイドラインの策定 UNECE WP29 ITS/AD TFCSのセキュリティガイドラインに対応したITSセキュリティレポートX.1373の改定 ⇒ 追補版作成を支援中 (3) ISO/TC22/SC31とITU-T SG16の連携によるVDS (Vehicle Domain Service) の標準化を支援 ⇒ 本活動は終了 (4) 5GにおけるV2X：5Gを活用したV2Xの標準化動向について、移動通信網マネージメント専門委員会と連携して、5GMF Connected Vehicle adhocに参加 ⇒ 意見交換、調査を実施				
関連する専門委員会とその内容	AI活用専門委員会委員長と意見交換を実施、FG-AI4ADなどの動向について意見交換を継続予定				
主な活動項目	概況指標	2021年度目標 (当初計画時)		2021年度実施状況	記事
① アップストリーム他団体との連携	寄書数	2件		4件	
	外部会合への参加・連携状況	・ITU-T SG16 / FG-VM 1件 ・ITU-T CITS 1件		・2件：CITS ・2件：ASTAP ・ITU-T CITS：TTC活動報告 (山本委員) ・ITU-T FG-VM, FG-AI4AD (中尾委員、眞野事務局) ・SG17 X.1373rev改訂に関して3Jと連携支援 ・VDS (ISO/TC22/SC31/WG8) に関する活動は終了 (自技会方針変更による) ・5GMF Connected Vehicle adhocメンバとして参加 ・ITS JAPAN スマートボールITS検討TFに参加	
② ドキュメント作成国内標準仕様書レポート	JJ標準	0件		0件	
	TS/TR/SR	0件 / 2件 / 0件 - V-HUBの利活用ガイドライン (CIAJ連携) - 自動運転のセキュリティに関するレポート		0件 / 3件 (予定) / 0件 - V-HUB利活用ガイドライン (2022年3月予定) - V-HUB要求条件・仕様の日本語化完了 - 自動運転のセキュリティに関するレポートは中止 (具体テーマ未確定のため)	
③ ダウンストリーム	数	0件		0件	
④ プロモーション普及推進	セミナー	1回 TTCセミナー		2回 更に1回予定 V-HUBガイドライン紹介セミナー (3月)	
	記事投稿、講演会	2件 - TTCLレポート - ITUジャーナル		2件 - TTCLレポート 2件	

中期標準化戦略 (2021年度重点取り組みと活動報告)		専門委員会・AG名	BSG専門委員会		
重点取り組みと成果	① 日本のICT技術の新興国普及を目指すため、ASTAP EG BSGに参画し、「ICTソリューションハンドブック」のフォロー、改定を継続 改定内容はTTC技術レポートに反映 ⇒ ASTAP-33にて事例追加提案、APTレポートとして発行承認されAPTWEBサイトに掲載済/TR改定は年度未までに完了予定 ② 過去のパイロットプロジェクトサイトでの異業種間データを共有するプラットフォームをマレーシアと連携して維持管理 異業種間データを組合せた新産業創生に向け、新興国の若手研究者によるコンペ（アイデアソン）を開催 ⇒ プラットフォーム管理は継続中/アイデアソンは開催を計画していたがコロナ禍で開催方法を見極め ③ 過去のパイロットプロジェクトも含め安定的に正確な現地データを取得するため、フィリピン、インドネシア等と連携して、持続可能なIoTシステムを検討継続 ⇒ 検討継続中。ランカラヤ大学（インドネシア）とリモート会議実施 ④ 産学官連携プロジェクトを利用して、日本のICT技術の新興国普及のためのビジネスモデル形成およびステークホルダー育成の推進を継続 ⇒ タイと日本の農業に関するICT活用パイロットサイトをつないだ意見交換実施を検討中 ⑤ アジアで共通的に取り組むべき社会課題の解決に向けた新たなICTソリューションの検討と推進 ⇒ マレーシアとAPTプロジェクトを推進中				
関連する専門委員会とその内容	新規プロジェクトの内容により個別に相談する。				
主な活動項目	概況指標	2021年度目標 (当初計画時)		2021年度実施状況	記事
① アップストリーム 他団体との連携	寄書数	2件 ASTAP EG BSG (2021年6月予定) ・ICTソリューションハンドブック改定 ・その他		1件 ASTAP-33 EG BSG (2021年6月、バーチャル会合) ・ICTソリューションハンドブック改定 ⇒ “Handbook to Introduce ICT Solutions for the Community in Rural Areas” APT/ASTAP/REPT-13(Rev.4)発行	
	外部会合への参加・連携状況	・ASTAP: 1回 (2021年6月予定) ・SHAREミーティング: 1回 ・他国標準化団体との合同ワークショップ (マレーシアMTSFB、タイNBTC等) ・アイデアソン開催		・ASTAP-33: 2021年6月、バーチャル会合 ・SHAREミーティング: 2021/12/10 バーチャル会合 ・他国標準化団体との合同ワークショップは開催見合せ ・アイデアソン開催は延期	F2F会合についてはコロナ禍の影響あり
② ドキュメント作成 国内標準/仕様書/レポート	JJ標準	0件		0件	
	TS/TR/SR	0件 / 1件 / 0件 - TR: ICTソリューションハンドブック改定		0件 / 1件 / 0件 - TR: ICTソリューションハンドブック改定予定	
③ ダウンストリーム	数	0件		0件	
④ プロモーション 普及推進	セミナー	1回 TTCセミナー		3回 ・2021/3/17「APTでの取り組み～COVID-19禍の中で～」 ・2021/11/22「Healthcare and IoT Solutions during the time of COVID-19」 ・SHAREメンバーによる活動紹介を計画中	
	記事投稿、講演会	・TTCLレポート記事: イベント毎に報告		・TTCLレポート記事: 4件	

中期標準化戦略 (2021年度重点取り組みと活動報告)		専門委員会・AG名	IoT・スマートシティ専門委員会		
重点取り組みと成果	・ITU-T SG20に向けた、IoT・スマートシティに関する、国際標準への提案活動の推進 (都市インフラモニタリングの要件定義の作業完了) ・ITU-T SG20における標準化動向の調査および、対応・対策 ・オンラインセミナー開催: 委員会活動およびITU-T SG20の標準化動向の情報発信、関連分野の識者の講演				
関連する専門委員会とその内容	・IoTエリアネットワーク専門委員会: IoTエリアネットワーク専門委員会で検討された都市インフラモニタリングをITU-T SG20にて勤告化作業推進 (作業進捗提案で寄書入力実施) ・oneM2M専門委員会: 「IoT及びスマートシティに関わる標準化・技術動向」に関するオンラインセミナーを共同で企画				
主な活動項目	概況指標	2021年度目標 (当初計画時)		2021年度実施状況	記事
① アップストリーム 他団体との連携	寄書数	2		2	
	外部会合への参加・連携状況	ITU-T SG20会合 2021年5月		ITU-T SG20会合 2021年5月 ITU-T SG20会合 2021年10月 ITU-T SG20会合 2022年2月 (開催予定)	
② ドキュメント作成 国内標準 仕様書 レポート	JJ標準				
	TS/TR/SR	0件/0件/0件			
③ ダウンストリーム	数	TS: 回 TR: 回			
④ プロモーション 普及推進	セミナー	・TTCオンラインセミナー「IoTスマートシティに関わる標準化・技術動向」 ・ARIB/TTC共催オンラインセミナー「IoT及びスマートシティに関わる標準化・技術動向～ITU-T SG20とoneM2M～」(2021年11月5日) ・TTCオンラインセミナー「スマート農業の最新事例」(2021年12月2日)			
	記事投稿、講演会	TTCLレポート2件 (会合報告、セミナー報告)		TTCLレポート5件 (会合報告、セミナー報告)	

中期標準化戦略（2021年度重点取り組みと活動報告）		専門委員会・AG名	ICTと気候変動SWG		
重点取り組みと成果	<ul style="list-style-type: none"> <li>気候変動への適応策、ICT持続可能評価、エネルギー効率測定法に関するテーマを中心に、標準化対応および成果普及を重点的に進める一方で、国内の優良事例（省資源化技術）について寄書化3件。</li> </ul>				
関連する専門委員会とその内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>Iot・スマートシティ専門委員会（循環型の持続可能なシティおよびコミュニティの構築）</li> </ul>				
主な活動項目	概況指標	2021年度目標（当初計画時）	2021年度実施状況	記事	
① アップストリーム 他団体との連携	寄書数	0件	3件		
	外部会合への参加・連携状況	SG5会合：3月（2021） SG5 WP2会合：10月	SG5 WP2会合：5月、11月		
② ドキュメント作成 国内標準 仕様書 レポート	JJ標準				
	TS/TR/SR	0件/0件/0件	0件/0件/0件		
③ ダウンストリーム	数	TS：0回 TR：0回	TS：0回 TR：0回		
④ プロモーション 普及推進	セミナー	セミナー 1回（R2/3Q） （親委員会に協力する形で実施）	-		
	記事投稿、講演会	TTCLレポート活動報告	TTCLレポート活動報告		

中期標準化戦略（2021年度重点取り組みと活動報告）		専門委員会・AG名	AI活用専門委員会	2/3
重点取り組みと成果	工場での稼働管理・予兆管理、店舗等での映像認識等、委員会メンバーが興味を有するテーマ提案を募集し、 ① AI適用事例調査/抽出しAI適用事例から、テーマ関わるユースケースを推測 ② ユースケース集を作成 ③ 専門委員会で報告すると共に、過不足を皆で議論 その際に、調査した事例をベースに、下記、検討を行う。 ・何ができて、何が出来ないか ・自分達に適用するにはどうするか ・できないことをできるようにするには、何を足せばいいか ・各SDOでの検討状況に関わる情報の共有を行う。			
関連する専門委員会とその内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>信号制御、Network Vision、移動通信網マネジメント、IoTエリアネットワーク専門委員会（2030年を見据えた将来網検討）</li> <li>コネクテッドカー専門委員会との情報共有：11月</li> </ul>			
主な活動項目	概況指標	2021年度目標（当初計画時）	2021年度実施状況	記事
① アップストリーム 他団体との連携	寄書数	-	0件	
	外部会合への参加・連携状況	必要に応じて	未実施	
② ドキュメント作成 国内標準 仕様書 レポート	JJ標準	0件（予定しない）	0件	
	TS/TR/SR	0件/1件/0件（予定しない）	TR：1件 TR-1091：AI活用における品質・信頼性・説明責任に関する事例調査（5月） 調査対象：通信設備、自動運転、電力設備	
③ ダウンストリーム	数	-（予定しない）	0件	
④ プロモーション 普及推進	セミナー	AI活用に関するセミナーまたは、ワークショップの開催	<ul style="list-style-type: none"> <li>AI活用における品質・信頼性・説明責任に関する事例調査：7月</li> <li>AIに関する標準化活動の現状と今後の展開（IPSJ、ITSCJ、TTC共催）：22年2月予定</li> </ul>	
	記事投稿、講演会	必要により検討	電子情報通信学会 ソサエティ大会：9月	

中期標準化戦略 (2021年度重点取り組みと活動報告)		専門委員会・AG名	oneM2M専門委員会		
重点取り組みと成果	<ul style="list-style-type: none"> <li>• oneM2MのRelease 4の策定状況の動向把握 (oneM2M専門委員会での情報共有)</li> <li>• Release 4 Stage 3 Freeze後、IoT・スマートシティ専門委員会/ARIBと合同で、IoT及びスマートシティに関する標準化・技術動向をテーマにしたセミナーを開催(2021年11月)。またJEITA主催のIoT/M2MセミナーでoneM2M動向について講演(2022年2月)</li> <li>• Release 4発行スケジュール延伸(2022年2Q)に伴い、ダウンストリーム作業は2022年度に変更。</li> </ul>				
関連する専門委員会とその内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>• 3GPP : oneM2M/3GPPインターワーキング関連で連携を検討する。</li> <li>• IoT/スマートシティ : スマートシティ、ITU-T勧告化の情報交換を進める。</li> <li>• BSG : oneM2M普及について、協力/情報交換を進める。</li> <li>• IoTエリアネットワーク : IoTエリアネットワークに関して情報提供を検討する。</li> </ul>				
主な活動項目	概況指標	2021年度目標 (当初計画時)	2021年度実施状況		記事
① アップストリーム 他団体との連携	寄書数	各IMとして提出するため目標設定はしないが、日本勢として積極的な寄与を呼びかける	0件		
	外部会合への参加・連携状況	TP会合 (2021年5月、6月、8月、11月、2022年2月、計5回予定)	TP会合は、2021年5,8,11月に開催され、全会合に参加、2022年2月会合も参加予定。2021年11月会合は、2020年3月以降初となるF2F会合で、電話会議とのHybrid開催。		
② ドキュメント作成 国内標準 仕様書 レポート	JJ標準	0件	0件		
	TS/TR/SR	0件/0件/0件	0件/0件/0件		
③ ダウンストリーム	数	(Release4:2021年2Q以降) TS制定予定: ?件 TR制定予定: ?件	TS制定: 0件 TR制定: 0件 Release 4発行スケジュール延伸(2022年2Q)に伴い、ダウンストリーム作業は2022年度に変更。		
④ プロモーション 普及推進	セミナー	Release4策定完了後、スマートシティなどをテーマとした他専門委員会と合同のセミナー開催を検討。	2件。Release 4 Stage 3 Freeze後、IoT・スマートシティ専門委員会/ARIBと合同で、「IoT及びスマートシティに関する標準化・技術動向～ITU-T SG20とoneM2M～」を開催(2021年11月)。またJEITA主催の「IoT/M2M最新動向セミナー2022」でoneM2Mの動向を講演(2022年2月にNECにて講演予定)		
	記事投稿、講演会	TTCLレポート執筆、講演会への講師としての参加	1件。UCL(University College London)でのoneM2M活動調査の一環で、KDDIがインタビューを受けた。		

中期標準化戦略 (2021年度重点取り組みと活動報告)		専門委員会・AG名	セキュリティ専門委員会		
重点取り組みと成果	<ul style="list-style-type: none"> <li>• X.1060 (Framework for the creation and operation of a cyber defence centre) 及び、量子鍵配送に関する勧告化貢献とTTC標準化</li> <li>• 5Gセキュリティ (標準化ロードマップ)、ITSセキュリティ (X.1373改定、V2X通信データ要件)、IoT (セキュリティ管理策)、ID管理 (FIDO勧告化)、DLT等への活動の積極的な貢献</li> </ul>				
関連する専門委員会とその内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>• コネクテッド・カー専門委員会 : X.1373の改訂作業、および、その他のITSセキュリティ関係のワークアイテムの対応検討</li> <li>• Network Vision専門委員会、信号制御専門委員会 : QKDに関する勧告作成</li> <li>• IoT・スマートシティ専門委員会 : IoTセキュリティ関連のワークアイテムの取り扱い</li> <li>• IoTエリアネットワーク専門委員会 : IoTセキュリティに関する連携</li> </ul>				
主な活動項目	概況指標	2021年度目標 (当初計画時)	2021年度実施状況		記事
① アップストリーム 他団体との連携	寄書数	各SG17会合で10件程度	<ul style="list-style-type: none"> <li>• 9件 (SG17 2021年4月会合)</li> <li>• 10件 (SG17 2020年8～9月会合)</li> </ul>		
	外部会合への参加・連携状況	<ul style="list-style-type: none"> <li>• SG17会合 (2021年4月、8～9月)</li> <li>• CJK Information Security WG会合 (次期末定)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>• CJK Information Security WG会合は、コロナ禍のため中止。</li> <li>• 2020年3月のSG17会合は、24名の参加。</li> <li>• 2020年8～9月のSG会合は、25名の参加。</li> </ul>		
② ドキュメント作成 国内標準 仕様書 レポート	JJ標準	0件 サイバーセキュリティ関連で標準化が必要と考えられる勧告の有無について検討する。	0件 2020年度はダウンストリーム以外のTTC標準化案件は無し。		
	TS/TR/SR	0件/0件/0件	0件/0件/0件		
③ ダウンストリーム	数	1件 X.framcdc (Framework for the creation and operation of a cyber defence center) X.1373 (X.itssec-1) については、関連標準化組織の動向等を見ながら標準化検討する。(X.itssec-1: Secure software update capability for ITS communication devices)	2件を標準化作業中 ITU-T X.1060 (Framework for the creation and operation of a cyber defence center) をJT-X1060としてTTC標準化。 ITU-T X.1712 (Security requirements and measures for quantum key distribution networks – key management) をJT-X1712としてTTC標準化。		
④ プロモーション 普及推進	セミナー	セキュリティに関するセミナー開催 (2021/2Q)	11月に「ニューノーマル時代のIoTエリアネットワークとセキュリティに関する標準化・技術動向」をIoTエリアネットワーク専門委員会と共催。		
	記事投稿、講演会	TTCLレポート活動報告、他	<ul style="list-style-type: none"> <li>• ITU-T SG17 第8回特別会合、第9回会合に関して結果報告。(TTCLレポート 2021年4月号、2021年7月号)</li> <li>• Security Days 2021 FallにてTTCとして5Gセキュリティ標準化に関する講演を実施。</li> </ul>		



中期標準化戦略 (2021年度重点取り組みと活動報告)		専門委員会・AG名	企業ネットワーク専門委員会		
重点取り組みと成果	<ul style="list-style-type: none"> <li>デジタルトランスフォーメーション時代を支える今後の企業ネットワーク構成技術。特にCOVID-19禍に伴うテレワークの急激な普及により強く求められている、Web会議等の通信技術、レジリエントな企業ネットワークを構築するためのエッジコンピューティング技術。</li> <li>消防指令システム仕様書の改定 (新技術の取り込み、方式の統一化)</li> <li>企業ネットワークの技術動向の継続的チェック</li> </ul>				
関連する専門委員会とその内容	網管理、移動通信網マネジメント専門委員会等、ネットワーク管理と関連するグループとの情報交換の推進。				
主な活動項目	概況指標	2021年度目標 (当初計画時)		2021年度実施状況	記事
① アップストリーム 他団体との連携	寄書数	-		-	
	外部会合への参加・連携状況	-		-	
② ドキュメント作成 国内標準 仕様書 レポート	JJ標準	0件		0件	
	TS/TR/SR	1件/1件/1件 ・ 消防指令システム (仕様書改定) ・ エッジコンピューティングに関する技術レポート ・ 新規テーマに関する調査レポート		1件/1件/2件 ・ 消防指令システム (仕様書改定) ・ エッジコンピューティングに関する調査レポート ・ 近年のWeb系通信に関する調査レポート ・ WebRTCに関する技術レポート: 4Q	
③ ダウンストリーム	数	0件		0件	
④ プロモーション 普及推進	セミナー	-		-	
	記事投稿、講演会	-		-	

中期標準化戦略 (2021年度重点取り組みと活動報告)		専門委員会・AG名	信号制御専門委員会		
重点取り組みと成果	<p><b>専門委員会</b> 2030年を見据えた、将来網の在り方や、要件に関してNetwork Vision専門委員会、AI活用専門委員会と連携した検討</p> <p><b>SIP SWG</b> 国内ALL-IP化対応の標準(IMS事業者網間相互接続インターフェース等)の改訂</p> <p>① 3GPP等の標準化動向/PSTNマイグレーションに係る意識合わせの場の議論動向に留意しながら、IMS事業者網間インターフェースの検討を進める。</p> <p>② 委員からの標準化検討要望への対応</p> <p>③ CJK IMT-WG、GSM A等との連携、情報交換。</p> <p><b>NGN信号アップストリーム SWG</b></p> <p>① SG11: 会合へのアップストリーム活動(国内寄書のサポート)</p>				
関連する専門委員会とその内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>Network Vision専門委員会、AI活用専門委員会、MM専門委員会 (2030年を見据えた将来網検討)</li> <li>3GPP専門委員会、MM専門委員会</li> </ul>				
主な活動項目	概況指標	2021年度目標 (当初計画時)		2021年度実施状況	記事
① アップストリーム 他団体との連携	寄書数			SG11 7月会合: 0件 SG11 12月会合: 4件	
	外部会合への参加・連携状況	SG11 2021年7月会合 SG11 2021年12月会合		SG11 7月会合: 11名 SG11 12月会合: 12名	
② ドキュメント作成 国内標準 仕様書 レポート	JJ標準	2件 JJ: 2件 (JJ-90.30v9, JJ-90.32v4, )		JJ: 4件 (JJ-90.27v8, JJ-90.28v4, JJ-90.30v9, JJ-90.32v4)	
	TS/TR/SR	1件/1件/0件 (TS-1018v7, 新規TR)		TS: 1件 (TS-1018v7) TR: 1件 (TR-1088v2) 2021/5/20 v1 2021/10/5 v2	
③ ダウンストリーム	数	-			
④ プロモーション 普及推進	セミナー	IP相互接続に関するセミナー (2021/5月)		IP相互接続に係る標準制定状況と進捗について (2021/6月)	
	記事投稿、講演会	TTCLレポート活動報告 SG11 会合報告		<ul style="list-style-type: none"> <li>標準類制定状況 (July Vol.36/No.2)</li> <li>SG11会合報告 (July Vol.36/No.2)</li> </ul>	

中期標準化戦略 (2021年度重点取り組みと活動報告)		専門委員会・AG名	網管理専門委員会・SWG1501		
重点取り組みと成果	<ul style="list-style-type: none"> <li>ITU-T SG2におけるクラウドとSDNベースのネットワークとの協同管理に関する勧告(ITU-T M.3373)等のTTC標準化を4Qに行う方針で、関連するTTC専門委員会の合意を経て、TTC標準化に向けた翻訳作業を実施</li> <li>プロモーション活動として、4Qに網管理の最新動向に関するセミナーを開催予定。</li> </ul>				
関連する専門委員会とその内容	AI活用専門委員会等とはセミナー等の動向を会合にて共有、議論予定				
主な活動項目	概況指標	2021年度目標 (当初計画時)	2021年度実施状況		記事
① アップストリーム 他団体との連携	寄書数				
	外部会合への参加・連携状況	<ul style="list-style-type: none"> <li>TMForum関連会合 (Action Week, Digital Transformation World等)</li> <li>対応者との連携</li> <li>他関連専門委員会 (AI活用専門委員会等)との連携</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>会合もしくはセミナーにて、TMForum Digital Transformation World 2021の状況を共有、議論予定</li> <li>AI活用専門委員会等とはセミナー等の動向を会合にて共有、議論予定</li> </ul>		
② ドキュメント作成 国内標準 仕様書 レポート	JJ標準				
	TS/TR/SR	ITU-T SG2のIntelligent network management 関連のドラフト勧告の動向調査	会合にて、5G-RAN、AI、省電力化、RESTなどの勧告が制定予定であることを共有		
③ ダウンストリーム	数	1件 (M.3373「クラウドとSDNベースネットワークとの協同管理」のダウンストリーム)	1件翻訳作業中 (M.3373「クラウドとSDNベースネットワークとの協同管理」のダウンストリーム)		
④ プロモーション 普及推進	セミナー	2021年度中に1回開催	SWG1502と連携したセミナー開催を検討も、4Qの単独開催を継続検討		
	記事投稿、講演会	TTCLレポート投稿	ダウンストリームの内容 (M.3373) を踏まえてTTCLレポートに投稿予定		

中期標準化戦略 (2021年度重点取り組みと活動報告)		専門委員会・AG名	網管理専門委員会・SWG1502		
重点取り組みと成果	JJ-201.01にも関連するITU-T勧告G.107シリーズ、P.863や、映像配信サービスの品質評価技術である勧告P.1201やP.1203の標準化動向や技術拡張に引き続き積極的に寄与。今後、発展が期待される5G/IoT/VR映像に対する品質検討の動向を把握。				
関連する専門委員会とその内容					
主な活動項目	概況指標	2021年度目標 (当初計画時)	2021年度実施状況		記事
① アップストリーム 他団体との連携	寄書数	1件	3件		
	外部会合への参加・連携状況	ITU-T SG12 : 5月, 11月	ITU-T SG12 : 5月, 11月		
② ドキュメント作成 国内標準 仕様書 レポート	JJ標準	0件	0件		
	TS/TR/SR	0件/0件/0件	0件/0件/0件		
③ ダウンストリーム	数	0件	0件		
④ プロモーション 普及推進	セミナー	継続検討	次年度開催に向け継続検討		
	記事投稿、講演会	TTCLレポートにSG12会合の結果報告の記事を投稿	TTCLレポートにSG12会合の結果報告の記事を投稿		

中期標準化戦略（2021年度重点取り組みと活動報告）		専門委員会・AG名	番号計画専門委員会	
重点取り組み	1. ITU-T SG2での検討課題（IoT/M2M用の番号計画に関する新規勧告の策定、IMSIの割当管理に関する勧告E.212改訂、IIN(Issuer Identifier Number)の割当に関するE.118勧告改訂、番号ポータビリティ・キャリアスイッチングに関する勧告の改訂等）に対し、会合及び関連するラポータ会合に参加し、動向を注視するとともに必要に応じてアップストリーム/ダウンストリーム活動を実施。特に、番号ポータビリティ方式に関する寄書提案等に関しては積極的にアップストリーム活動を実施。 2. 国内での番号方式に関する普及活動として電気通信番号セミナー開催、TTCLレポート・ITUジャーナル等への投稿を実施予定。また、欧州との相互理解を深めるために、欧州ECC-NaNとの交流を継続し、テクニカルレポート(ECCレポートの翻訳)の作成実施。			
主な活動項目	概況指標	2021年度目標（当初計画時）	2021年度実施状況	記事
① アップストリーム 他団体との連携	寄書数	2件	2件	
	外部会合への参加・連携状況	<ul style="list-style-type: none"> <li>ITU-T SG2のQ1ラポータ会合(3月)、プレナリ会合(5-6月) 其後の会合及び関連するラポータ会合(時期未定)への参加</li> <li>ECC-NaN全体会合(5月、10月)への参加</li> <li>米国番号規制組織(iconectiv, NANPA等)との意見交換</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>SG2のQ1ラポータ会合参加(3月)</li> <li>SG2プレナリ会合参加(5-6月)</li> <li>SG2のQ1アドホック参加(7月,8月)</li> <li>SG2のQ1ラポータ会合参加(9月)</li> <li>SG2プレナリ会合参加(11月)</li> <li>ECC-NaN全体会合(5月、11月)への参加</li> <li>ECC-NaN2会合(5月、11月)への参加</li> </ul> ※米国番号規制組織との意見交換は1月に実施予定	
② ドキュメント作成 国内標準 仕様書 レポート	JJ標準	0件	0件	
	TS/TR/SR	0件/1件/0件 ※実施候補：ECCレポートの翻訳（候補：番号への信頼）	0件/0件/0件 ※ECCレポートの翻訳（候補：番号への信頼）は、完成を待って次年度に作成予定。	
③ ダウンストリーム	数	0件	0件	
④ プロモーション 普及推進	セミナー、記事投稿、講演会	番号政策・将来番号方式等に関するセミナーの企画によるプロモーションの実施(10月目途)	※セミナーを1月に実施予定	
		TTCLレポート、ITUジャーナル等への投稿による普及活動を予定	TTCLレポート(10月号、1月号)、ITUジャーナル(6月号、10月号)、NTT技術ジャーナル(11月号)、NTT Technical Review(1月号)への投稿による普及活動を実施	

中期標準化戦略（2021年度重点取り組みと活動報告）		専門委員会・AG名	Network Vision専門委員会	
重点取り組みと成果	<b>専門委員会</b> ・他専門委員会、AGと連携して、CJK NSA-WGの対処を行う。（今年度は、未開催） ・2030年を見据えた、将来網の在り方や、要件に関して信号制御、AI活用、MM、IoTエリアNWの各専門委員会と連携した検討。 <b>NGNアップストリーム SWG</b> ・ITU-T SG13会合への対処方針並びに、寄書審議を実施し、TTCメンバーからの提案調整を実施。 ・QKDN、Autonomous NW関連課題の検討/寄書作成を行い、SG13へのアップストリーム活動を実施。 <b>QoSアーキテクチャ SWG</b> ・必要に応じて、NGNの品質情報転送機能の実現方法の標準化に関して、関連委員会と情報交換する。 <b>クラウドSWG</b> ・クラウド、SDN/NFV関連の技術動向・標準化動向について調査及び、各専門委員会と連携してNFV関係活動の取り纏め。 <b>NetSoft SWG</b> ・ネットワークソフト化、Autonomous NW関連技術課題の検討/寄書作成を行い、SG13へのアップストリーム活動を行う。 <b>Autonomous Network AH</b> ・ITU-T FG AN対応の国内議論/情報共有の場として、AN AHを設置し、専門委員会を横断した活動を実施。			
関連する専門委員会とその内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>Security専門委員会（QKDN関連）</li> <li>信号制御専門委員会（CJK対応）</li> <li>信号制御、AI活用、移動通信網マネジメント、IoTエリアネットワーク専門委員会（2030年を見据えた将来網検討）</li> </ul>			
主な活動項目	概況指標	2021年度目標（当初計画時）	2021年度実施状況	記事
① アップストリーム 他団体との連携	寄書数	-	7件	
	外部会合への参加・連携状況	SG13:11月会合	13名	
② ドキュメント作成 国内標準 仕様書 レポート	JJ標準	-	0件	
	TS/TR/SR	0件/1件/0件 QKDに関するTRを作成	0件/0件/0件	
③ ダウンストリーム	数	3件 ・JT-Y3802 ・JT-Y3803 ・JT-Y3804	JT:4件 ・JT-Y3800v1.1 ・JT-Y3802v1.1 ・JT-Y3803v1.1 ・JT-Y3804v1.1	
④ プロモーション 普及推進	セミナー	-	-	
	記事投稿、講演会	TTCLレポート活動報告 SG13 会合報告（未定）	・SG13会合報告（July Vol.36/No.2）	

中期標準化戦略（2021年度重点取り組みと活動報告）		専門委員会・AG名	移動通信網マネジメント専門委員会	
重点取り組みと成果	<ul style="list-style-type: none"> <li>TTC内の3GPP専門委員会、oneM2M専門委員会、国内SDOのARIB、海外SDOのATIS、CCSA、ETSI、TSDSI、TTA、国際標準化団体の3GPP、3GPP2の間に立ち、5Gを中心とした標準化を円滑に進めるに当たっての以下のようなアクションを実施。</li> <li>3GPP専門委員会と共催で3GPPにおける5G標準化の最新動向(Rel-17)セミナーの企画を協議。標準策定完了以降の2022年度に実施する方向で準備を進めることで合意。</li> <li>3GPP会合をFace-to-faceに戻すことに向けての各国SDO間の協議に参画。至近では2022年6月の3GPP TSG Plenary会合よりFace-to-face会合に戻す方向で準備を進めることに。ハンガリー プタベスト開催に向けMeeting Invitationも展開済み。最終決定は3月。</li> <li>3GPP2へのTTCからのIM登録企業が無くなったことを受け、3GPP2 SWGを廃止。</li> </ul>			
主な活動項目	概況指標	2021年度目標（当初計画時）	2021年度実施状況	記事
① アップストリーム 他団体との連携	寄書数	0件	0件	
	外部会合への参加・連携状況	<ul style="list-style-type: none"> <li>3GPP: TSG Plenary (4回), PCG/OP会合(2回)</li> <li>3GPP2: SC/OP会合 (2回: Web会議開催未定)</li> </ul> Beyond 5G推進コンソーシアム等との連携を検討	<ul style="list-style-type: none"> <li>3GPP: TSG Plenary (4回; 6月、9月、12月、3月) PCG/OP会合(2回; 4月、10月)</li> <li>3GPP2: SC/OP会合(Web会議; 2021年は開催なし)</li> </ul> Beyond 5G推進コンソーシアム等との専門委員会単独での連携は特になし	
② ドキュメント作成 国内標準 仕様書 レポート	JJ標準	0件	0件	
	TS/TR/SR	0件/0件/0件	0件/0件/0件	
③ ダウンストリーム	数	TS制定: 0回 TR制定: 0回	TS制定: 0回 TR制定: 0回	
④ プロモーション 普及推進	セミナー	3GPP専門委員会と連携して、5G標準化の最新動向(Rel-17)を解説するセミナーを実施	3GPP専門委員会と連携して5G仕様の主要アイテムとしてNWスライス、Local 5Gを選定し、各アイテムの技術を深掘りするための勉強会を開催	
	記事投稿、講演会	TTCLレポート活動報告、積極的に関連業界誌等への寄稿を検討	特になし	

中期標準化戦略（2021年度重点取り組みと活動報告）		専門委員会・AG名	3GPP専門委員会	
重点取り組みと成果	<ul style="list-style-type: none"> <li>3GPP-TSGを中心とした移動通信の国際標準化活動に関する情報共有と意見交換及び関連技術議論を実施。</li> <li>3GPPで承認された仕様を、年4回*TTC標準として制定（ダウンストリーム活動）-約600件の仕様のダウンストリームを実施。*年4回：7月、10月、1月、4月(予定)。</li> <li>年4回の専門委員会会合を開催し3GPP仕様書ダウンストリーム結果の承認、及び、TSG会合結果を基に主要課題等の議論を実施。</li> <li>5G主要アイテム（NWスライス、Local 5G）の委員会内の勉強会の取り組み（来年度勉強会成果を委員会外へ提示/紹介を予定）</li> </ul>			
主な活動項目	概況指標	2021年度目標（当初計画時）	2021年度実施状況	記事
① アップストリーム 他団体との連携	寄書数		-	
	外部会合への参加・連携状況	<ul style="list-style-type: none"> <li>3GPP</li> <li>B5G推進フォーラム等との連携を検討</li> </ul>	3GPP TSG会合(7, 10, 1月及び4月)	
② ドキュメント作成 国内標準 仕様書 レポート	JJ標準			
	TS/TR/SR	0件/0件/0件	0件/0件/0件	
③ ダウンストリーム	数	TS/TR 4回(四半期毎)	ダウンストリーム制定 7月9日制定 (TS 207件、TR 0件) 10月15日制定 (TS 147件、TR 0件) 1月14日制定 (TS 115案件、TR 0件) *3月下旬作業実施～4月制定予定 (約100案件を想定)	
④ プロモーション 普及推進	セミナー	<ul style="list-style-type: none"> <li>移動通信網マネジメント専門委員会と連携してRel-15/16 5G仕様の主要アイテムの1つ（例: NWスライシング）を深掘りする勉強会を開催～勉強会の成果を外部に展開を検討予定。</li> </ul>	移動通信網マネジメント専門委員会と連携して5G仕様の主要アイテムとしてNWスライス、Local 5Gを選定し、各アイテムの技術を深掘りするための勉強会を開催。	
	記事投稿、講演会	TTCLレポート活動報告、積極的に関連業界誌等への寄稿を検討する。		

中期標準化戦略 (2021年度重点取り組みと活動報告)		専門委員会・AG名	IoTエリアネットワーク専門委員会	
重点取り組みと成果	① IoTを活用したインフラモニタリングで利用するセンサーデバイスの情報モデル標準化検討・・・別紙3/4 ② タイムリーな既存TRの改定や新規作成を実施 ③ IoT推進フォーラムの技術・標準化分科会等との連携継続 ④ SG15合同アップストリーム会合、およびIoT・スマートシティ専門委員会会合に参加し、アップストリーム活動と情報共有実施			
関連する専門委員会とその内容	IoT・スマートシティ専門委員会：IoTエリアネットワーク専門委員会で検討した都市インフラモニタリングをITU-T SG20にて勧告化作業するため、IoT・スマートシティ専門委員会と連携。			
主な活動項目	概況指標	2021年度目標 (当初計画時)	2021年度実施状況	記事
① アップストリーム 他団体との連携	寄書数	-	-	
	外部会合への参加・連携状況	・SG15：7月会合 ・SG20：5月会合 ・SG5：5月会合	・SG20：5月,10月会合と中間会合(6,9月)で寄書提案、Y.4214がTAP凍結(10月)され22年2月3日のSG20会合で承認審議予定。ITU-T Webinar Episode #8で本取組を紹介。 ・SG5_WP2/Q7 5、11月会合へ寄書提案	
② ドキュメント作成 国内標準 仕様書 レポート	JJ標準	新規1件、改定1件 ・インフラモニタリング用センサー共通情報モデルの制定 (別紙3/4参照) ・JJ-300.20をIEEEにおける標準化状況にあわせて改定	改定1件 (年度未予定) ・インフラモニタリングについては、市場動向等を鑑みてY.4214勧告提案に専念(別紙3/4参照) ・JJ-300.20をIEEE 1901の標準化状況に合わせて改定 (v1.1→v2.0)	
	TS/TR/SR	0件/3件/0件 ・2020年度からの継続案件(TR-1073, 1076)の検討・制定、及び必要に応じて関連TRの改定や新規作成を実施 ・JJ-300.00に継続する継続案件、及び必要に応じて関連TRの改定や新規作成を実施 ・TR-1082ガイドラインの改定 SPEマルチギガ追記 電力容量拡大に向けたケーブル追記 SPE_P-MP追記	0件/新規2件 (年度未予定) 改定2件/0件 ・TR-1092：HTTPの実用的な課題への対応 ・TR-1093：IoT向け通信サービスに関するTR ・TR-1076情報モデル (第2版：1月改定) ・TR-1082ガイドライン (第2版：5月改定) 10Mbps：大容量、長距離仕様追加 コネクタ・ケーブル仕様追加	
③ ダウンストリーム	数	2件 W3C Web of Things関連 (Architecture, Thing Description)	・Web of Thingsアーキテクチャ(第1版:10月)	
④ プロモーション 普及推進	セミナー	・IoTエリアネットワーク関連の技術/標準化動向に関するセミナー開催(2021/10予定)	・セキュリティ専門委員会と共催 (11/30)	
	記事投稿、講演会	TTCLレポート活動報告、他	TTCLレポート2件 (セミナー報告、TTC標準紹介)	

中期標準化戦略 (2021年度重点取り組みと活動報告)		専門委員会・AG名	伝送網・電磁環境専門委員会	
重点取り組みと成果	[SWG1301] ・大容量伝送網の基本であるOTNアーキテクチャ(JT-G872)及び管理(TR-G874)の文書改版、新たな管理技術としてのTransport SDN制御アーキテクチャ国内標準化。進展著しいAI/機械学習技術等、新技術の光伝送網適用可能性と国際標準化戦略検討。 [SWG1302] ・5G等取容伝送網(MTN)、400G超高速OTN及び次期高精度時刻同期関連の国際標準動向情報共有と標準化戦略検討。5Gを支える伝送網に関する国内標準技術文書化と時刻同期関連技術レポート化。 [SWG1305] ・大型・大電力容量通信システムの設置場所試験法(CISPR TR 16-2-5)のTTC標準化。			
関連する専門委員会とその内容	光ファイバ伝送およびアクセス網委員会・物理層IFの連携			
主な活動項目	概況指標	2021年度目標 (当初計画時)	2021年度実施状況	記事
① アップストリーム 他団体との連携	寄書数		ITU-T SG15 WP3 (2021年4月)：7件 ITU-T SG15 WP3 (2021年12月)：5件 ITU-T SG5 WP1 (2021年5月)：10件 ITU-T SG5 WP1 (2021年11月)：13件	
	外部会合への参加・連携状況	ITU-T SG15 WP3 (2021年4月) ITU-T SG15 WP3 (2021年12月) ITU-T SG5 WP1 (2021年5月) ITU-T SG5 WP1 (2021年11月)	ITU-T SG15 WP3 (2021年4月) ITU-T SG15 WP3 (2021年12月) ITU-T SG5 WP1 (2021年5月) ITU-T SG5 WP1 (2021年11月)	
② ドキュメント作成 国内標準 仕様書、レポート	JJ標準	-	-	
	TS/TR/SR	0件/1件/0件 TR-GNSS (GNSSの基礎技術) (2021/2Q) [SWG1302]	0件/0件/0件 TR-GNSS (GNSSの基礎技術) は2022年度へ延伸 [SWG1302]	
③ ダウンストリーム	数	4件 ・JT-G872(OTNアーキテクチャ)改版(2021/2Q)[SWG1301] ・TR-G874(OTN装置管理側面)改版もしくは国内標準新規(2021/4Q) [SWG1301] ・JT-G7702(トランスポートネットワークのSDN制御アーキテクチャ)新規(2021/4Q) [SWG1301] ・JT-G709.1 (フレキシブルOTN短距離インタフェース) 新規(2021/2Q) [SWG1302] ・JT-K132策定(2021/4Q)[SWG1305]	2件+6件(4Q予定) ・JT-Y1731改定(2021/2Q) [SWG1301] ・JT-G709.1策定(2021/2Q) [SWG1302] ・JT-K124/K130/K131/K138/K139改定 ・JT-K132策定(2021/4Q予定)[SWG1305]	
④ プロモーション 普及推進	セミナー	・通信EMCの国際標準化動向 (集客のため他団体と共催検討)	次年度に延期	
	記事投稿、講演会	TTCLレポート活動報告 [SWG共通]	TTCLレポート7月号 SG15会合報告 TTCLレポート10月号 SG5会合報告	

中期標準化戦略 (2021年度重点取り組みと活動報告)		専門委員会・AG名	アクセス網専門委員会	
重点取り組みと成果	[SWG2401] ・アクセス網を媒体に関係なくメタル、光ファイバによる無線区間以外の有線ネットワーク全般ととらえ、特に次世代移動体網のフロントホール/バックホールにおけるアクセス網の問題点を検討し、必要に応じてITU-T SG15 Q2で議論されている次世代光アクセスシステムへのアップストリーム活動の実施。 ・G.hspやG.suppl文書で移動体網の伝送に光アクセスシステムを活用するための個別テーマでの検討が進んでおり、その検討状況について調査し、調査報告書を作成。 ・次世代光アクセス網SWGでは、SDOsにおける25G/50Gの次世代光アクセス技術を調査し、調査報告書を作成。 ・アクセスシステムの仮想化プラットフォームのメリット、ユースケースなどについてSDOs等での検討状況の調査報告書を作成。 [SWG2402] ・ハイブリッドアクセス網SWGでは、G.fast 等の新規技術の調査するとともに海外の導入事例等の調査継続。また、スペクトル管理標準に関しては新たな課題の出現時は個別に対応。			
関連する専門委員会とその内容	AI活用専門委員会との連携を進めていく。NW上でアルゴリズムで実装されている部分へのAI活用では、ネットワーク設計、異常検知をAIにて自動化する試みがあります。このような、ネットワークの仮想化にAIの活用が必須となり、エッジコンピューティングには、AIによる解析は必要となることから連携して検討を進める。			
主な活動項目	概況指標	2021年度目標 (当初計画時)	2021年度実施状況	記事
① アップストリーム 他団体との連携	寄書数		ITU-T SG15 WP1 (2021年4月):3件 ITU-T SG15 WP1 (2021年12月):2件	
	外部会合への参加・連携状況	ITU-T SG15 WP1 (2021年4月) ITU-T SG15 WP1 (2021年12月)	ITU-T SG15 WP1 (2021年4月) ITU-T SG15 WP1 (2021年12月)	
② ドキュメント作成 国内標準 仕様書 レポート	JJ標準	—	—	
	TS/TR/SR	0件/0件/1件 各種SDOsの検討状況について調査し、調査報告書を作成。【SWG2401】	0件/0件/1件(4Q予定) 各種SDOsの検討状況について調査し、調査報告書を作成。【SWG2401】	
③ ダウンストリーム	数	—	—	
④ プロモーション 普及推進	セミナー	TTCセミナー (2021年4Q) 【SWG共通】	本年度はセミナー開催見送り	
	記事投稿、講演会	TTCLレポート活動報告 【SWG共通】	本年度はセミナー開催見送りのため、TTCLレポート作成なし予定。	

中期標準化戦略 (2021年度重点取り組みと活動報告)		専門委員会・AG名	光ファイバ伝送専門委員会	
重点取り組みと成果	・地下ケーブル (L.100) の勧告化、SDM技術レポート (TR.sdm) の草案作成、既存光ファイバ標準 (G.650.1およびG.654) の改訂提案、関連寄書の投稿 (SG15 2021年4月、12月) ・JT-G650.1 (線形パラメータ試験法(第2版))、およびJT-698.1 (マルチチャネルDWDM) 制定 (2021/4Q予定) ・光システムインタフェースの標準化動向に関するセミナー開催 (2021/2Q)			
関連する専門委員会とその内容	伝送網電磁環境およびアクセス網委員会・物理層IFの連携			
主な活動項目	概況指標	2021年度目標 (当初計画時)	2021年度実施状況	記事
① アップストリーム 他団体との連携	寄書数	-	7件 (2021年4月会合) 7件 (2021年12月会合)	
	外部会合への参加・連携状況	ITU-T SG15 WP2 (2021年4月、12月) IEC TC86国内委員との連携	ITU-T SG15 WP2 (2021年4月、12月) IECとの連携 (TR.sdm、L.oehc、G.650.1)	
② ドキュメント作成 国内標準 仕様書 レポート	JJ標準	0件	0件	
	TS/TR/SR	0件/0件/0件	0件/0件/0件	
③ ダウンストリーム	数	2件 ・JT-G.698.1 (2021/4Q) 【SWG2001】 ・JT-G650.1第2版 (2021/4Q) 【SWG2002】	JT制改訂: 2件 ・JT-G.698.1 (2021/4Q予定) 【SWG2001】 ・JT-G650.1第2版 (2021/4Q予定) 【SWG2002】	
④ プロモーション 普及推進	セミナー	TTCセミナー ・システムインタフェースの標準化動向など (2021/2Q) 【SWG共通】	TTCセミナー ・システムインタフェースの標準化動向など (2021/2Q) 【SWG共通】	
	記事投稿、講演会	TTCLレポート活動報告 【SWG共通】		



中期標準化戦略 (2021年度重点取り組みと活動報告)		専門委員会・AG名	国際連携AG(含TSAG対応TF)	
重点取り組みと成果	<ul style="list-style-type: none"> <li>ITU-T新会期における研究課題、体制構築およびWTSA決議、Aシリーズ勧告の制改訂に向けたAPT WTSA準備会合(11月、追加開催)における対処方針案の検討、並びに国内議論を推進、APT共通提案のとりまとめへの貢献を推進した</li> <li>ITU-T次々会期に向けたSG再編アクションプランおよび次会期のWTSA決議、Aシリーズ勧告の制改訂、作業方法に向けたITU-T TSAG会合(10月、1月)における日本寄書提出、並びに国内議論を推進した</li> </ul>			
関連する専門委員会とその内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>関連するSG役職者と連携して、ITU-T次々会期研究課題、体制構築 (WTSA24に向けたSG再編アクションプランへの対処方針検討を含む) を検討している</li> </ul>			
主な活動項目	概況指標	2021年度目標 (当初計画時)	2021年度実施状況	記事
① アップストリーム 他団体との連携	寄書数	TSAG(2件)、GSC(2件)、CJK(2件)	TSAG(2件)	
	外部会合への参加・連携状況	<ul style="list-style-type: none"> <li>ITU-T TSAG会合 (10月および1月) に向けて、日本対処方針案策定、日本寄書案作成への協力を行う。</li> <li>9月に開催されるAPT WTSA準備会合に向け、対処方針案の作成への協力を行う。</li> <li>3月に開催されるWTSA-20に向け、日本対処方針案策定等への協力を行う。</li> <li>CJK18会合およびGSC23会合に参加し、TTCの最新活動の報告、重点テーマに対するTTC寄書発表を行う。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>ITU-T TSAG会合 (10月および1月) に向けて、日本対処方針案策定、日本寄書案作成への協力を実施した。</li> <li>11月に開催されたAPT WTSA準備会合に向け、対処方針案の作成への協力を行った。</li> <li>3月に開催されるWTSA-20に向け、日本対処方針案策定、APT共通提案 (19件) 策定への協力を行った。</li> </ul>	CJK18会合およびGSC23会合については、COVID-19のため順延となっている
② ドキュメント作成 国内標準 仕様書 レポート	JJ標準			
	TS/TR/SR	0件/0件/0件	なし	
③ ダウンストリーム	数	TS: 回 TR: 回	TS: 回 TR: 回	
④ プロモーション 普及推進	セミナー	TTC大使報告会	12/15実施済 (総務部主導にて)	
	記事投稿、講演会	<ul style="list-style-type: none"> <li>TSAG会合報告</li> <li>WTSA-20会合報告</li> <li>CJK18会合報告</li> <li>GSC-23会合報告</li> </ul>	TSAG会合報告(2回)実施済	

中期標準化戦略 (2021年度重点取り組みと活動報告)		専門委員会・AG名	技術調査AG	
重点取り組みと成果	<ul style="list-style-type: none"> <li>最新の技術動向を考慮して調査対象フォーラムの見直しを実施</li> <li>調査項目や分析手法などを再検討し、報告内容をより有意義な内容に改訂</li> </ul>			
主な活動項目	概況指標	2021年度目標 (当初計画時)	2021年度実施状況	記事
① アップストリーム 他団体との連携	寄書数	なし	なし	
	外部会合への参加・連携状況	なし	なし	
② ドキュメント作成 国内標準 仕様書 レポート	JJ標準			
	TS/TR/SR	0件/0件/0件	0件/0件/0件	
③ ダウンストリーム	数	TS: 回 TR: 回	TS制定 TR制定:	
④ プロモーション 普及推進	セミナー	企画戦略委員会中間報告	企画戦略委員会中間報告実施(12/20)	
	記事投稿、講演会	<ul style="list-style-type: none"> <li>フォーラム調査報告書 第28版</li> <li>TTC Report 投稿</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>以下はQ4実施予定</li> <li>フォーラム調査報告書 第28版</li> <li>TTC Report 投稿</li> </ul>	

## 寄書審議状況

専門委員会	寄書数	提案先
マルチメディア応用	16 件	ITU-T SG16(Multimedia) ( IPTV, ILE, e-health, アクセシビリティを含む)
コネクテッド・カー	5 件	CITS(Collaboration on ITS Communication Standards), ASTAP,ITU-T FG-VM ( Focus Group on Vehicular Multimedia ), ITU-T SG16
BSG	1 件	ASTAP
IoT・スマートシティ	1 件	ITU-T SG20(IoT, smart cities & communities)
ICTと気候変動 SWG	2 件	ITU-T SG5 ( Environment and circular economy)
セキュリティ	18 件	ITU-T SG17(Security)
網管理	3 件	ITU-T SG12(Performance, QoS & QoE)
番号計画	1 件	ITU-T SG2(Operational aspects)
信号制御	4 件	ITU-T SG11 ( Protocols and test specifications)
Network Vision	5 件	ITU-T SG13(Future networks (& cloud))
伝送網・電磁環境	31 件	ITU-T SG15(Transport, access and home), ITU-T SG5 ( Environment and circular economy)
アクセス網	5 件	ITU-T SG15(Transport, access and home)
光ファイバ伝送	14 件	ITU-T SG15(Transport, access and home)
国際連携 AG	2 件	ITU-T TSAG



## TTC 標準の制改定状況

専門委員会	制改定年月日 (標準化会議)	制改定した標準の番号とタイトル
マルチメディア 応用	2021.5.20 (第 131 回)	JT-H430.4(新規 第 1 版) 超高臨場ライブ体験(ILE: Immersive Live Experience):ILE システムにおける MMT のサービス構成、メディア伝送プロトコル、 およびシグナリング情報
セキュリティ	2022.2.24 (第 134 回)	JT-X1060(新規 第 1 版) サイバーディフェンスセンターを構築・運用するためのフレームワーク
		JT-X1712(新規 第 1 版) 量子鍵配送ネットワークのセキュリティ要求条件と対策 - 鍵管理
信号制御	2021.5.20 (第 131 回)	JJ-90.27(改定 第 8 版) 着信転送サービス(CDIV)に関する NNI 仕様
		JJ-90.28(改定 第 4 版) 緊急通報呼に関する NNI 仕様
		JJ-90.30(改定 第 9 版) IMS 事業者網間の相互接続共通インタフェース
		JJ-90.32(改定 第 4 版) SIP ドメイン解決のための DNS 相互接続共通インタフェース
Network Vision	2021.5.20 (第 131 回)	JT-Y3802(新規 第 1 版) 量子鍵配送ネットワーク - 機能アーキテクチャ
		JT-Y3803(新規 第 1 版) 量子鍵配送ネットワーク - 鍵管理
		JT-Y3804(新規 第 1 版) 量子鍵配送ネットワーク - 制御と管理
IoT エリアネット ワーク	2021.11.11 (第 133 回)	JF-W3C-wot-architecture-20200409(新規 第 1 版) Web of Things (WoT) アーキテクチャ
	2022.2.24 (第 134 回)	JJ-300.20(改定 第 2 版) IoT ネットワーク向け有線通信インタフェース(広帯域 Wavelet OFDM PLC (「HD-PLC」))
伝送網・ 電磁環境	2021.11.11 (第 133 回)	JT-G709.1(新規 第 1 版) フレキシブル OTN 短距離インタフェース
		JT-Y1731(改定 第 2 版) イーサネットの OAM 機能とメカニズム
光ファイバ伝送	2021.5.20 (第 131 回)	JT-G650.1(新規 第 1 版) シングルモード光ファイバ及びケーブルの線形特性の定義及び試験 方法
	2021.8.26 (第 132 回)	JT-G977.1(新規 第 1 版) 光増幅中継光ファイバ海底ケーブルシステムのための垂直互換 DWDM アプリケーション

## (1)仕様書の制改定状況

専門委員会	制・改・廃 年月日	概 要	仕様書 (件)		
			新規	改定	廃止
企業ネットワーク	2021.4.8	TS-1023(改定 第2版) 消防指令システム - 消防救急無線間共通インタフェース仕様	0	1	0
	2021.7.1	TS-1023(改定 第2.1版) 消防指令システム - 消防救急無線間共通インタフェース仕様	0	1	0
信号制御	2021.5.20	TS-1018(改定 第7版) CUG/PNPに関するインタフェース	0	1	0
3GPP	2021.4.9	Release10~16 TSG プレナリ会合承認分	238	0	0
	2021.7.9	Release11~16 TSG プレナリ会合承認分	203	0	0
	2021.10.15	Release14~16 TSG プレナリ会合承認分	147	0	0
	2022.1.14	Release13~16 TSG プレナリ会合承認分	116	0	0

## (2)技術レポートの制改定状況

専門委員会	制・改・廃 年月日	概 要	技術レポート(件)		
			新規	改定	廃止
企業ネットワーク	2021.4.8	TR-1087(新規 第1版) YANG 1.1 データモデリング言語に関する技術報告書	1	0	0
コネクテッド・カー	2021.4.22	TR-1089(新規 第1版) 災害時の車両を用いた情報通信システムの要求条件	1	0	0
		TR-1090(新規 第1版) 災害時の車両を用いた情報通信システム(V-HUB)仕様	1	0	0
IoT エリアネットワーク	2021.5.11	TR-1082(改定 第2版) シングル・ペア・イーサネット通信及び直流給電方式についての実装ガイドライン	0	1	0
	2021.12.7	TR-1076(改定 第2版) IoT エリアネットワーク情報モデルの概説	0	1	0

信号制御	2021.5.20	TR-1088(新規 第1版) IMS 事業者網間の相互接続共通インタフェースシーケンス/メッセージ例	1	0	0
	2021.10.5	TR-1088(改定 第2版) IMS 事業者網間の相互接続共通インタフェースシーケンス/メッセージ例	0	1	0
AI 活用	2021.5.31	TR-1091(新規 第1版) AI 活用における品質・信頼性・説明責任に関する事例調査	1	0	0
BSG	2022.3.1	TR-1058(改定 第5版) 遠隔地域での ICT ソリューション導入に向けたハンドブック	0	1	0
3GPP	2021.7.9	Release16 TSG プレナリ会合承認分	1	0	0

## (1) 標準類ダウンロード状況(専門委員会別 2021/4-2022/3)

順位	専門委員会	DL回数合計	TOP1	DL回数	TOP2	DL回数	TOP3	DL回数
1	信号制御	26220	JJ-90.30	3185	TR-1007	2736	JT-Q931	1404
2	伝送網・ 電磁環境	20937	JT-Y1731	1640	TR- G8275.1	1603	TR- G8275.2	1350
3	企業ネットワ ーク	10794	TS-1023	2937	JJ-22.11	1224	TR-1078	776
4	マルチメディ ア応用	9623	JT-T30	1939	JT- H222.0	761	JT-G711	612
5	3GPP	5115	TS-3GA- 38.413 (Rel15)v1 5.4.0	102	TS-3GA- 23.501 (Rel16)v1 6.7.0	91	JP-3GA- 22.042(R 99)	69
6	網管理	5063	JT-G652	1423	TR-1054	960	JJ-201.01	772
7	IoT エリア NW	4743	JJ-300.10	695	TR-1064	545	TR-1071	441
8	光ファイバ 伝送	4739	TR- Gsup.39	1016	JT- G694.1	691	TR-1077	391
9	アクセス網	4685	TR-1079	3193	SR-0073	214	TS-1000	176
10	Network Vison	1744	JT-X25	285	JT-Y1541	278	JT-Y1221	142
11	番号計画	1605	SR-0067	545	TR-1070	505	TR-1080	262
12	oneM2M	1356	TS-M2M- 0010v3.0. 1	74	TS-M2M- 0026v3.0 .0	71	TS-M2M- 0035v3.0 .0	53
13	コネクテッ ド・カー	1317	TR-1068	1128	TR-1090	76	TR-1089	72
14	移動通信網 MNG	710	JT-Q931- b	62	JP-3GB- N.S0011	39	JT-Q921- b	30
15	セキュリティ	503	JT-X1060	262	JT-X1051	161	JT-X1710	23
16	IoT・スマー トシティ	215	JT-L1410	117	JT-L1200	98		
17	AI活用	142	TR-1091	142				

18	BSG	84	TR-1058	84				
	合計	115095						

(2) 標準類ダウンロード状況(TOP20 2021/4-2022/3)

	ドキュメント 番号	最新版制定日	専門委員会	タイトル	DL 回数
1	TR-1079	2019/5/30	アクセス網	第5世代移動体通信システムのフロントホールにおける光アクセスに関する技術報告書	3193
2	JJ-90.30	2018/8/29	信号制御	IMS 事業者網間の相互接続共通インタフェース	3185
3	TS-1023	2020/4/20	企業ネットワーク	消防指令システム-消防救急無線間共通インタフェース仕様	2937
4	TR-1007	2003/3/14	信号制御	Session Initiation Protocol(SIP)に関する技術レポート	2736
5	JT-T30	2008/5/29	マルチメディア 応用	一般交換電話網における文書ファクシミリ伝送手順	1939
6	JT-Y1731	2010/2/24	伝送網・ 電磁環境	イーサネットのOAM機能とメカニズム	1640
7	TR- G8275.1	2017/12/5	伝送網・ 電磁環境	「ネットワークからフルタイミングサポートでの位相/時刻同期に関する高精度タイム・プロトコルのテレコムプロファイル」の技術レポート	1603
8	JT-G652	2018/5/24	網管理	シングルモード光ファイバ及びケーブルの諸特性	1423
9	JT-Q931	1999/4/22	信号制御	ISDNユーザ・網インタフェースレイヤ3仕様	1404
10	TR- G8275.2	2019/3/1	伝送網・ 電磁環境	「ネットワークから部分タイミングサポートでの位相/時刻同期に関する高精度タイム・プロトコルのテレコムプロファイル」の技術レポート	1350

11	JJ-22.11	2016/6/9	企業ネットワーク	企業 SIP 網に接続する SIP 端末 ⇔サーバ間基本接続インタフェース 技術仕様	1224
12	JT-G709	2011/3/1	伝送網・ 電磁環境	光伝送網のインタフェース	1207
13	TR-1068	2019/10/30	コネクテッド・ カー	自動車の遠隔更新技術の標準化動 向と実用化課題	1128
14	JS-CISPR- 35	2020/5/21	伝送網・ 電磁環境	マルチメディア機器の電磁両立性 ーイミュニティ要求事項ー	1121
15	JT-I430	2000/2/1	伝送網・ 電磁環境	ISDN基本ユーザ・網インタフェー ス レイヤ1仕様	1065
16	TR-Gsup.39	2017/2/10	光ファイバ伝送	光伝送システムの開発と技術的考 察	1016
17	TR-1054	2018/6/1	網管理	IP 電話の通話品質測定ガイドライ ン	960
18	JJ-90.27	2021/5/20	信号制御	着信転送サービス(CDIV)に関す る NNI 仕様	808
19	JT-G783	2001/4/19	伝送網・ 電磁環境	SDH多重変換装置の警報系・切替 系の動作	806
20	TR-1003	2002/2/20	伝送網・ 電磁環境	Optical Transport Network (OTN)のインタフェースに関する 技術レポート	789

## TTC 主催セミナー・ワークショップ

No.	名称	年月日 (参加者数) (TTC 会員外)	関連専門 委員会等
1	【2021 年度情報通信月間参加行事】TTC オンラインセミナー「e スポーツ×SDGs 最 前線」	2021.4.15 (140 名) (TTC 会員外 61 名/56 社)	企画戦略委員会
2	【2021 年度情報通信月間参加行事】TTC オンラインセミナー「IP 相互接続に係る標 準制定状況と進捗について」	2021.6.10 (98 名) (TTC 会員外 13 名/9 社)	信号制御
3	【2021 年度情報通信月間参加行事】TTC オンラインセミナー「AI 活用における品質・ 信頼性・説明責任に関する事例調査」	2021.7.6 (157 名) (TTC 会員外 13 名/10 社)	AI 活用
4	【2021 年度情報通信月間参加行事】TTC オンラインセミナー「光伝送システム標準の 最新動向 ～ 陸上光伝送システムと海底光 伝送システムの標準化展望 ～」	2021.7.9 (119 名) (TTC 会員外 17 名/17 社)	光ファイバ伝送
5	【2021 年度情報通信月間参加行事】TTC オンラインセミナー「Society5.0 とゲーム /リアルタイムコミュニケーション」	2021.7.13 (143 名) (TTC 会員外 54 名/41 社)	業務運営連絡会
6	【2021 年度情報通信月間参加行事】TTC オンラインセミナー「IoT/データ活用の最前 線(その1)～先進事例から見る社会課題・ 業界課題の解決策～」	2021.7.14 (180 名) (TTC 会員外 80 名/67 社)	業際イノベーション本部
7	【2021 年度情報通信月間参加行事】TTC オンラインセミナー「コロナ禍における情報 アクセシビリティの向上」	2021.7.16 (146 名) (TTC 会員外 78 名/59 社)	マルチメディア 応用
8	【2021 年度情報通信月間参加行事】TTC オンラインセミナー「IoT/データ活用の最前 線(その2)～先進事例から見る DX/イノベ ーションの起こし方～」	2021.8.25 (140 名) (TTC 会員外 66 名/56 社)	業際イノベーション本部
9	【2021 年度情報通信月間参加行事】TTC・ 量子 ICT フォーラム合同オンラインセミナー 「量子時代のセキュリティ最前線」	2021.10.12 (328 名) (TTC 会員外 153 名/104 社)	企画戦略委員会

10	【2021 年度情報通信月間参加行事】 ARIB/TTC 共催オンラインセミナー「IoT 及びスマートシティに関わる標準化・技術動 向 ～ITU-T SG20 と oneM2M～」	2021.11.5 (140名) (TTC 会員外 66 名/56 社)	IoT・スマートシ ティ、 oneM2M
11	TTC オンライン Workshop「第 2 回 ITU AI/ML in 5G Challenge 日本ラウンド 受賞者による AI 活用研究の発表について」	2021.11.12 (89名) (TTC 会員外 22 名/20 社)	Network Vision
12	TTC オンラインセミナー「Healthcare and IoT Solutions during the time of COVID-19」	2021.11.22 (183名) (TTC 会員外 154 名/62 社)	BSG
13	【2021 年度情報通信月間参加行事】TTC オンラインセミナー「ニューノーマル時代の IoT エリアネットワークと セキュリティに関 わる標準化・技術動向」	2021.11.30 (91名) (TTC 会員外 7 名/5 社)	IoT エリアネット ワーク、セキュリ ティ
14	TTC オンラインセミナー「スマート農業の最 新事例」	2021.12.2 (172名) (TTC 会員外 51 名/45 社)	IoT・スマートシ ティ
15	TTC 会員限定「菊地 TTC 大使報告会 ～ ETSI 等欧州における ICT 関連最新標準化 動向～」	2021.12.15 (72名)	国際連携 AG
16	TTC オンラインセミナー「番号計画に関連 する最新の番号政策・標準化動向と今後の 展望」	2022.1.14 (51名) (TTC 会員外 2 名/2 社)	番号計画
17	ICT ビジネス戦略オンラインセミナー「デ ジュール及びフォーラム標準に関する国際 標準化活動動向調査」(第一回)	2022.1.28 (129名) (TTC 会員外 44 名/36 社)	受託案件
18	標準化人材育成オンラインセミナー「コロ ナ禍での国際標準化会合の動向」	2022.2.4 (105名) (TTC 会員外 43 名/36 社)	企画戦略委員会
19	IPSJ・TTC 共催オンラインセミナー「世界 で広がる AI 倫理の議論と活用に向けた取 り組み」	2022.2.9 (544名) (TTC 会員外 302 名/231 社)	企画戦略委員会
20	ICT ビジネス戦略オンラインセミナー「デ ジュール及びフォーラム標準に関する 国際 標準化活動動向調査」(第二回)	2022.3.4 (103名) (TTC 会員外 32 名/29 社)	受託案件



## 別紙 7-2

## 他機関主催セミナー・ワークショップへの後援・協賛

No.	名称	年月日	主催	種別
1	連続セミナー2021「ニューノーマル時代に向けた情報技術の潮流」	2021年6月から12月にかけて全12回シリーズで開催	一般社団法人 情報処理学会	協賛
2	ITU主催 AI / ML in 5G チャレンジ 日本ラウンドのオンラインセミナー:「日本ラウンド課題と機械学習に関する招待講演」	2021.8.13	ITU	協賛
3	海外事例に学ぶ DX(デジタルトランスフォーメーション)推進オンラインセミナー	2021.8.26	一般社団法人 日本OMG	後援
4	JAPAN Security Summit 2021	2021.10.25 ~ 11.2	JAPANSecurity Summit 2021 実行委員会	共催
5	第53回世界情報社会・電気通信日のつどい	2021.11.30	一般財団法人 日本ITU協会	後援

## 別紙 7-3

## 展示会等への後援・出展

No.	名称	年月日	開催場所	種別
1	Interop Tokyo 2021	2021.4.14~16	幕張メッセ	後援
2	ワイヤレステクノロジーパーク 2021	2021.6.2~4	青海展示棟	後援
3	ワイヤレスジャパン 2021	2021.6.2~4	青海展示棟	後援

## 2021 年度受賞者一覧

## 1 情報通信技術賞 総務大臣表彰

(1)「移動通信システムに関する標準化及び実用化への貢献」

ドコモ・テクノロジー株式会社

中村 寛 殿

## 2 情報通信技術賞 TTC 会長表彰

(1)「ITU-Tの標準化戦略の策定及びTTCにおける国際連携活動にかかわる功績」

富士通株式会社

東 充宏 殿

(2)「移動通信網のネットワークアーキテクチャ関連の国際標準化にかかわる功績」

株式会社NTTドコモ

岡川 隆俊 殿

(3)「WebRTCの国際標準化及びその普及推進にかかわる功績」

エヌ・ティ・ティ・コミュニケーションズ株式会社

小松 健作 殿

(4)「標準化の企画戦略及び運営にかかわる功績」

エヌ・ティ・ティ・アドバンステクノロジー株式会社

瀬社家 光 殿

(5)「マルチメディア応用通信技術などの国際標準化及びその普及推進にかかわる功績」

国立研究開発法人情報通信研究機構(元 日本電気株式会社)

谷川 和法 殿

(6)「移動通信システムにおけるコアネットワークの標準化にかかわる功績」

KDDI株式会社

中野 裕介 殿

## 3 功 労 賞

(1)「通信サービス品質評価に関する標準化活動にかかわる功績」

元 日本電信電話株式会社

青木 仁志 殿

(2)「V2X通信で扱われるデータ分類とセキュリティ要求に関する標準化活動にかかわる功績」

KDDI株式会社

磯原 隆将 殿

(3)「通信装置のEMCに関する標準化活動にかかわる功績」

日本電信電話株式会社

小林 栄一 殿

(4)「光ファイバケーブルに関する標準化活動にかかわる功績」

通信電線線材協会

五戸 朋章 殿

(5)「PSTNマイグレーションにおける相互接続仕様策定にかかわる功績」

日本電信電話株式会社

坂谷 精一 殿

(6)「企画戦略委員会委員として時代に即応した標準化活動にかかわる功績」

富士通株式会社

四方 清隆 殿

(7)「企画戦略委員会委員として時代に即応した標準化活動にかかわる功績」

日本電信電話株式会社

上茶 雄 殿

- (8)「アクセス網システムに関する標準化活動にかかわる功績」  
 KDDI株式会社 田中 和樹 殿
- (9)「マルチメディア応用に関する標準化の推進にかかわる功績」  
 元 日本電信電話株式会社 田中 清 殿
- (10)「伝送網の装置機能及び保護・復旧に関する標準化活動にかかわる功績」  
 日本電気株式会社 田中 大志 殿
- (11)「PSTNマイグレーションに関する事業者連携と標準化にかかわる功績」  
 ソフトバンク株式会社 寺崎 公人 殿
- (12)「IoTベースの土木構造物インフラモニタリングシステムに関する標準化活動にかかわる功績」  
 沖電気工業株式会社 原田 崇 殿
- (13)「国際連携と標準化戦略策定の推進にかかわる功績」  
 株式会社日立製作所 三宅 滋 殿
- (14)「シングル・ペア・イーサネット通信及び直流給電方式に関する標準化活動にかかわる功績」  
 NEC マグナスコミュニケーションズ株式会社 安川 昌毅 殿
- (15)「光ファイバ及び海底光伝送システムに関する標準化活動にかかわる功績」  
 通信電線線材協会 山口 秀樹 殿
- (16)「企業ネットワークに関する標準化活動にかかわる功績」  
 株式会社日立製作所 山田 謙輔 殿
- (17)「光伝送システムに関する標準化活動にかかわる功績」  
 日本電気株式会社 依田 幸英 殿

### III. 附属明細書

2021年度事業報告には、事業報告の内容を補足する重要な事項は特にないので、「一般社団法人及び一般財団法人に関する法律施行規則」第34条第3項に規定する附属明細書として記載すべき事項はなし。